

多賀工業会 東京支部会報

2008年8月 第11号



小江戸の空

多賀工業会 東京支部

事務局 東京都文京区弥生 2-8-6 (〒113-0032)

支部長 近江 義勝方

電話 03-3811-7088 (FAX 共)

***** 2008年 第11号 目次 *****

報 告	第28回東京支部総会開催のご案内	菅谷 祐男	1
	講演会の講師と概要紹介	菅谷 祐男	1
	東京支部長挨拶 (第27回総会に当たって)	近江 義勝	2
	第27回東京支部総会報告	広瀬 行一	2
	総会時の講演概要 (講師:堤 裕 先生、多摩平成クリニック院長) (脳梗塞・その発症リスクと予防について)	玉川 信二	3
	総会出席者名簿及び写真出展者名簿		4
	平成19年度東京支部会計報告		5
	平成20年度東京支部予算案		5
随 筆	思い出の記	藤田 勲	6
	シルバーライフは酔狂に生きよう	雨澤 道雄	7
	こんな日がくるなんて・・・	坪 弘	8
	還暦野球に熱中!	大塚 進	9
	健康管理	青野 潔	10
	陳式心意混元太極拳との出会い	常盤 浩央	11
インタビュー記事 (活躍人訪問)	齋田 和夫氏		
	名機中判一眼レフ「マミヤ645」を設計開発	鈴木 日出男	12
随 筆	第二の故郷、茨城	秋山 英樹	14
	錯覚人生	小澤 茂	15
支部めぐり	仙台支部の紹介	渡部 晃	16
お知らせ	迷惑メール対策とPCの裏技 (ホームページ編集室から)	矢野 睦男	17
	吼洋寮寮歌の歌詞について (会報編集室から)	会報編集室	17
	平成19年度会費納入者	会報編集室	18
	囲碁同好会	新沼 厚生	20
	旧制水戸高等学校と対抗戦	高田 丈夫	20
	ゴルフ同好会	兼子 八郎	21
	写真同好会	小林 渡	22
	山遊会	小宅 仁	23
	快舞会 (ダンス同好会)	瀬在 城雄	24
	編集後記		24
	多賀工業会東京支部会則		表3
	協賛広告	ソフトロニクス・新世代加工システム・サイバーリンクス	表4

表紙の説明

小江戸の空

カメラ: キヤノン EOS デジカメ

昨年の11月26日、多賀工業会埼玉支部ワンダーフォトクラブから「小江戸の秋を楽しもう!」のご案内を頂き、家内と共に川越に出掛けました。中院、喜多院、五百羅漢、成田山別院、蔵づくりの町、時の鐘、菓子屋横丁と案内していただきました。土蔵造りの店舗の建物が並ぶ一番街は、今の東京では見る事の出来ない江戸の面影をとどめており、それ故に、川越は小江戸と呼ばれていることが納得できました。この写真は、喜多院内で、空を見上げたら雲の造形が綺麗でしたので、寺の屋根と木の枝を入れて逆光で撮影したものです。

山崎 慎一郎 (昭31学原)

第28回多賀工業会東京支部総会開催のご案内

1. 日時 平成20年10月11日(土)午後3時から
2. 場所 上野精養軒(右図参照)
東京都台東区上野公園4-58
電話 03-3821-2181(代表)

交通

- : JR上野駅公園口下車徒歩5分
- : 京成線京成上野駅下車徒歩5分
- : 東京メトロ銀座線日比谷線上野駅下車
西郷隆盛像から徒歩5分

3. 会費 10,000円(当日受付にて申し受けます)

4. 総会 午後3時~午後4時

5. 講演会 午後4時~午後5時

演題 「地球環境と原子力」

講師 日置 秀明(昭47学機)氏
(株)東芝 電力システム社
原子力システム設計部主幹

講師略歴等は下記をご覧ください。

6. 懇親会 午後5時00分~7時ごろまで

7. 写真展 総会の会場内に展示します。

(写真部員以外の会員からの出展をお待ちしております)

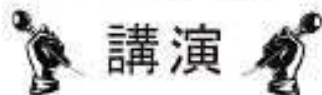
8. お問い合わせ先 出欠のご返事は9月26日(金)までに同封のハガキにてお願いします。

なお、出欠にかかわらず、お手数でも同封の振込用紙にて、年会費2,000円をお振込みくださるようお願い申し上げます。

9. お問い合わせ先

駒場 方嗣(昭38学機) TEL: 042-665-8387

広瀬 行一(昭38学電) TEL: 0297-78-8737



講演

へき ひであき
講師: 日置 秀明(昭47学機)氏
(株)東芝 電力システム社
原子力システム設計部の主幹



講師情報

学会: 日本機械学会会員
日本原子力学会会員
趣味: 料理、囲碁、
ゴルフ、旅行、
陶芸(2007年青山
表参道のプロモ・アルテ
ギャラリーにて個展開催)
投稿: 「おいしいものが好き」
2005年8月発行
本誌第8号

演題 「地球環境と原子力」

講演内容

18世紀以降からの爆発的な人口増加とエネルギーの需要増加により、地球環境問題が顕在化して、昔から用いられてきた薪、化石燃料からの転換が迫られています。

風力/太陽光等の再生可能エネルギーへの期待は高いものの、現状ではこれらだけで十分とはいえず、原子力発電への期待が一層高まってくると思われます。

米国で開発された軽水炉型原子力発電は、改良発展が進み、世界中で400基以上が稼働中で、WH社開発の加圧水型(PWR)とGE社開発の沸騰水型(BWR)の2つの型があります。

講演では、地球環境の状況と軽水炉の仕組みを中心として、その他の炉型についても簡単に紹介してもらおうと共に、最近、大きく変化している原子力産業界の世界状況を解説してもらおう予定です。多くの多賀工業会会員諸兄の参加をお待ちしています。

[紹介者: 菅谷禎男(昭42学機)]

第 27 回東京支部総会 に当たって

支部長 近江義勝 (昭 28 学電)



本日は第 27 回東京支部総会に、北は仙台、南は名古屋支部までの幹事諸兄並びに諸先輩のご出席を頂き、有難く厚く御礼申し上げます。

今年は稀なる猛暑続き、政治と金、更に年金問題等大変な一年でした。

毎年ご報告申し上げております総会出席状況ですが、今年は昨年より多少良くなりました。今年の大きな特長は 38 年卒の人だけで 28 名の参

加がありました。38 年卒の幹事諸兄が大変努力した賜かと思ひ、感謝申し上げます。この事は縦より横、つまり同級会が如何に重要かと言う証明だと思います。5 年前の総会でも申し上げましたが、男性には戦前は三つ、兵役、学歴、職歴がありました。現在では学歴、職歴の二つになり、特に学歴つまり同窓会が重要になってきました。

今回講師をされまます堤先生は旧制水戸高校で玉川君 (昭 28 学電) と同窓生、東京支部では旧制水戸高校 O B との囲碁愛好者対局やさらには写真展等も和気藪々で行っています。

人間の交わりは原因、目的からなりたっておりますが、同窓ほど純粋な交わりはありません。

そこで提案致します。先ず、同級会を充実させて下さい。現在は個人情報云々とか難しい時代ですが、同窓諸兄の皆様によりしく御願い致します。ご挨拶といたします。

第 27 回東京支部総会報告

広瀬 行一 (昭 38 学電)

多賀工業会東京支部第 27 回総会が平成 19 年 10 月 13 日 (土) 午後 3 時より上野精養軒にて開催されました。

本部の内山副会長はじめ、他の支部代表の方々をご来賓にお迎えし、出席者総数はご来賓の方々も含めて 81 名となりました。ご来賓の方々には遠路のご出席、誠に有難う御座いました。(出席者名簿は 4 ページに掲載。)

第 2 部の講演会は現役の脳神経外科の堤 裕博士に《脳梗塞の実態とその予防》と言う演題で大変分かり易いお話をお聞かせ頂きました。皆さん、身近な問題として熱心に拝聴して居られました。(概要は次ページに掲載。)

第 3 部の懇親会は年度別にテーブルを囲み、大いに飲み、語り合い楽しい一時を過ごしました。

最後に橋 弘 (昭 38 学電) さんのクラリネットの伴奏で校歌を合唱し、また来年の再会を約束し、お開きになりました。

会場には写真部により傑作写真多数が展示されました。(作品出展者名簿は 4 ページに掲載。)

今年の当番幹事は 38 年組が務めました。事前に各科の代表が集まり、参加者を如何にして多く集めるか相談し、各科それぞれの方法で広報を行いました。その結果、前年より約 25% アップの実績を得ました。同時に 38 年組の横の連携が出来、今後の同級会の集まりなど大きな財産になりました。来る 20 年度総会は 39 年、40 年、41 年の方々に頑張って貰いたいと期待しています。

☆ 懇親会会場に勢揃いした皆さん

<工専の大先輩方もお元気>



<S40 年代卒業の若手連も元気いっぱい>



＜総会時の講演概要＞

脳梗塞・その発症リスク と予防について

講師：医学博士 堤 裕 氏
現 多摩平成クリニック院長
元 東京逋信病院 脳神経科部長

旧制水戸高等
学校を経て新潟
大学医学部卒業。
東大・脳神経
外科に入局、
脳出血の手術の
開発に関する研
究で博士号取得。



講演後質問を受ける堤先生

紹介者：玉川 信二（昭28学電）
紹介者から

総会での講演会には従来から工学部出身者によるエンジニアリングに関する講話が多かった。今回は全く趣向を変え、私の旧制高校時代の同級生で脳疾患を専門とする友人の医師に健康講話を依頼した。我々にとって切実な問題である老後の健康をテーマとしたこともあって、出席者は熱心に聴講し大好評であった。

講演要旨

日本人の死亡原因を疾患別に高い順から並べると、癌、心疾患、脳血管障害、肺炎、などとされているが、脳梗塞で寝たきりになったのちに肺炎で死亡するというケースが圧倒的に多いことからも、正確な最高死亡原因は脳梗塞であるとみても間違いはなさそうである。脳血管障害の中でも脳梗塞がその60%以上を占め、脳出血が20%、くも膜下出血が10%程度である。

脳梗塞は心筋梗塞とともにその最大危険因子として高血圧症、糖尿病、高脂血症があげられる。そしてこれら3大危険因子は飽食、肥満の延長線上に必発する。肥満の指標として腹囲とBMI (Body Mass Index) があげられる。男性の場合は空腹時、臍のレベルでの腹囲が85cmを超えないこと、BMIが24以下であること [BMI = 体重 (Kg) ÷ 身長 (m) ÷ 身長 (m)]。現在、上記の3大危険因子をもっている人は肥満を指摘されていなくても医師の指導或いは治療を受けるなどしてその危険因子を改善すべきである。

とりあえず常識的に留意すべき事項を掲出する。
(i) 高血圧の傾向ある場合は塩分の摂取を積極的に減らす。

(WHOの基準は5g/日、厚生省の基準は6g/日以下)

(ii) 食事は腹八分、夜食・間食は禁止、四つ足の肉はなるべく控え、魚、野菜などを多食する(海産物でもいくら、雲丹など卵は控える)。

(iii) 飲酒は一日一合程度(時に二、三合は可)。喫煙は絶対禁止。

(iv) 四季に関係なく水分の摂取を多めにする。

(v) 少なくとも3日に一度は30分以上の発汗運動を行うこと。

(vi) 入浴時などの環境の急激な温度変化を少なくする。例えば冬など脱衣室の室温をあげて浴室との温度差を減らす、など。

(vii) 微量のアスピリンを継続服用すること(医師の指導が必要)。

(viii) 常にプラス思考を持つ。

突然半身の麻痺や言葉が出なくなるなどの異常を感じたら、早急に救急車で超早期脳梗塞の手当の出来る病院へ運んでもらうこと。

発病3時間以内に適切な処置が受けられれば、麻痺などの後遺症を残さずに治癒する可能性が大きい。

最後に参考までに

脳卒中の主な初期症状を列記する。

- ① 突然片側の手足が動き難くなる。
- ② 急に立てなくなったり、よろけたりする。
- ③ 呂律がまわらない、あるいは言葉がでない、さらには他人の話が理解できなくなる。
- ④ 視野が欠ける。
- ⑤ 発病当初から意識がなくなる場合もある(最重症)。

など。

以上



総会出席者：(写真出展者とも敬称略)

<来賓> 8名

内山 岩男 本部 副会長 (昭30学電)

三幣 正人 千葉県支部 元支部長 (昭24専機)

高橋 伸二 埼玉支部 副支部長 (昭41学機)

小室 敏之 水戸勝田支部 副支部長 (昭30学機)

高田 勲 静岡支部 支部長 (昭37学機)

中村 勇雄 栃木県支部 幹事長 (昭42学化)

手塚 秀 仙台支部 幹事長 (昭40学電)

佐藤 博泰 中部支部 支部長 (昭37学金)

<会員> 73名

林 義雄 (昭16専原)

依田 連平 (昭17専金)

宮崎 至誠 (昭18専機)

山本 栄治 (昭18専機)

山田 実 (昭18専金)

朽本 二郎 (昭17専原)

藤田 勲 (昭19専原)

柳田 裕美 (昭19専精)

飯島 公正 (昭23専原)

斉田 耕平 (昭23教電)

渡邊 貢 (昭26専原)

高田 丈夫 (昭28学機)

柳沢 裕 (昭28学原)

近江 義勝 (昭28学電)

玉川 信二 (昭28学電)

赤城 清 (昭28学金)

照沼 清 (昭29学金)

佐藤 久弥 (昭30学機)

石川 英二 (昭30学原)

鈴木 日出男 (昭30学原)

三本木 武 (昭30学金)

瀬在 城雄 (昭31学原)

山崎慎一郎 (昭31学原)

矢野 睦男 (昭32学原)

小室 秋生 (昭32学電)

山下 正明 (昭32学電)

佐藤 馨 (昭33短電)

粕谷 宏夫 (昭34学原)

秋山 光庸 (昭34学原)

高野 久弘 (昭35学機)

上月 秀俊 (昭36学機)

小宅 仁 (昭36学電)

川松 正長 (昭36学電)

上田 正雄 (昭37学電)

阿部 徳治 (昭37学化)

河上 弘一 (昭38学機)

駒場 方耀 (昭38学機)

大久 忠雄 (昭38学電)

兼子 八郎 (昭38学電)

熊谷 文男 (昭38学電)

小林 渡 (昭38学電)

佐々木登喜夫 (昭38学電)

高萩 隆司 (昭38学電)

橋 弘 (昭38学電)

寺内 賢一 (昭38学電)

新沼 厚生 (昭38学電)

橋本 政巳 (昭38学電)

広瀬 行一 (昭38学電)

海老原 雄二 (昭38学金)

大塚 進 (昭38学金)

小田倉 勝夫 (昭38学金)

小池 利彦 (昭38学金)

笹島 淳之助 (昭38学金)

白石 道彦 (昭38学金)

矢部 功一 (昭38学金)

磯部 亮 (昭38学精)

市村 敏司 (昭38学精)

黒羽 昇 (昭38学精)

矢嶋 國男 (昭38学精)

三好 成實 (昭39学機)

大原 広哉 (昭39学電)

芝崎 勝彦 (昭40学化)

田中 栄太郎 (昭40学化)

森 俊和 (昭40学化)

大泉 雅靖 (昭40学精)

青野 潔 (昭41学化)

菅谷 禎男 (昭42学機)

小澤 茂 (昭43学子)

石川 久 (昭44学子)

山口 良治 (昭44学精)

飯塚 英一 (昭46学電)

鳥居塚 卓 (昭54学精)

東 学 (平08院生)



↑ 写真展示場風景

展示写真：(出展者 7名 作品数 12件)

出展者	作品題名 (撮影場所)	備考
玉川 信二 (昭28学機)	愛馬の日 (世田谷区馬事公苑)	
	彼岸花 (八王子市高尾霊園高乗寺)	
鈴木 日出男 (昭30学原)	祭りの晴れ着 (ネパール・コカナ集落)	2007 花物語写真展出展
瀬在 城雄 (昭31学原)	アンコールワット遺跡 (カンボジア)	
山崎 慎一郎 (昭31学原)	ばんえい競馬 (世田谷区馬事公苑)	
小林 渡 (昭38学電)	修業僧 (鎌倉市建長寺)	2007 神奈川県写真サロン入選
	競演 I (神奈川県大和市)	2007 全日写連神奈川県本部 月例会入選
	競演 II (神奈川県大和市)	
	一斉射撃 (神奈川県足柄峠)	
三好 成實 (昭39学機)	白昼の寺廊にて (中国上海市静安寺)	
高橋 伸二 (昭41学機)	狙う・放つ (世田谷区馬事公苑)	所属：埼玉支部 ワンダーフォトクラブ
	西山荘 秋色 (茨城県 西山荘)	

平成19年度多賀工業会東京支部会計報告

平成19年4月1日～平成20年3月31日 (単位：円)

収入の部

費目	19年度予算	実績	予算比	摘要
年会費	600,000	604,000	4,000	246名302口
本部援助金	250,000	242,500	△7,500	3%減
総会会費	800,000	800,000		来賓8名+会員72名
広告料	40,000	30,000	△10000	2件
寄付・利息		62,248	62,248	寄付61,000、利息1248
前年度繰越金	772,688	772,688		
合計	2,462,688	2,511,436	48,748	

支出の部

総会費	700,000	717,695	17,695	前年実績比単価約250円計上不足
総会場・懇親会費		616,910		
その他諸費用		100,785		
会報費	600,000	445,396	△154,604	
会報諸印刷費		315,420		1300部発行
会報配送費		99,040		発送部数1238部クロネコ便合理化大
編集雑費		30,936		
会議費	100,000	83,630	△16,370	定例4回幹事増員
交通費	190,000	88,840	△101,160	
本部・支部総会参加交通費		75,480		本部・8支部総会参加
一般交通費		13,360		
交流費	250,000	211,001	△38,999	
本部・支部総会参加会費		86,000		本部・8支部総会への参加交流
同好会援助		100,000		4支部対抗ゴルフ・支部内の同好会へ
雑費		25,001		レンタルサーバー代・通信費、資料代
繰越金	622,688	964,874	342,186	
合計	2,462,688	2,511,436	48,748	

以上の通り報告致します。

平成20年5月24日

会計幹事

上月 秀俊



上記の通り適切である事を認めます。

平成20年6月2日

監事

榊原 康夫



監事

小宅 仁



平成20年度多賀工業会東京支部予算案

平成20年4月1日～平成21年3月31日 (単位：円)

収入の部

費目	20年度予算	前年予算比	摘要
年会費	600,000		年会費2,000×300名
本部援助金	236,400	△14,600	前年実績比3%減
総会費	800,000		会費10,000×80名
広告料	40,000		4件
前年度繰越金	964,874	192,186	
合計	2,640,274	177,586	

支出の部

総会費	750,000	50,000	前年並参加者目標
会報費	550,000	△50,000	A4版28頁：1300部
会議費	100,000		
交通費	185,000	△5,000	本部・9支部総会へ参加、昨年実績を基に低減
交流費	250,000		
次年度繰越金	805,274	182,586	
合計	2,640,274	177,586	

思い出の記

藤田 ^{かおる} 勲 (昭19 専原)

1、はじめに

編集部のお勧めにより、多賀工業専門学校時代を記してみる事に致します。



2、入学

昭和17年(1942年)

4月1日 入学式

早川富正校長先生の訓辞の中に「何時迄に何に成ろうと思はずに、無くてはならぬ人たらんと願え」とのお言葉が今でも心に残って居る。

学科の編成は機械、原動、精密、金属、電気、通信の6科で原動、通信が1組、他の4科がA、B2組で計10組。1組40名で合計400人が入学した訳である。

私は原動機械科で科長は井原敏男先生、熱力学蒸気機関を、弓削達雄先生は内燃機関、組担任の高尾菊雄先生はドイツ語を教えて頂いた。

組総員は42名であったが現存者は19名、何とも淋しい限りである。

他に増山(物理)、広瀬(英語)、岡本(英語)、松原(力学)、長元(材料強弱学)、眞野(機械工学)、神谷(化学)、舟本(電気)、梶山(教練)の先生方が記憶に残って居る。

3、寮

寮には未だ名前が無かった。門柱を通過して直進した正面に二階建ての本館が建ち、玄関を入ると、左に下駄箱、右に寮監室が有り、教授連が寮監として交替で宿直されて居られた。二階はホールで、レコードコンサートが開かれたりした。

中央の大廊下を胴体に見立てて右側に東と西、左側に南と北の4寮が複葉飛行機の翼の様に並んで建ち、東寮は14室、他は12室で合計50室有り、1室定員12名で1年生400人、2~3年生併せて200人合計600人が収容されて居た。

戦時下で1年生は全員強制入寮させられ、假令地元の日立、或いは水戸、高萩等の通学可能な地域の出身者でも許されなかった。

私は西寮7号室、右北側二階、大廊下に最も近く便所に遠い処に入れられた。室長の3年生1人、精密1、金属2の2年生が3人、機械1、原動2、精密1、金属1、電気2の1年生7人で計11人、欠員1であった。

夜各室を訪問して先輩方に室番号、氏名、出身校を申告、挨拶を行なったが、「声が小さい!!」と気合を入れられた事を今でも強く覚えて居る。

4、食に就いて

主食の米は配給制が敷かれて居て、飯は丼に盛り切り一杯、副食は夜は時に肉、魚、揚物、カレー等が付いたが、朝は味噌汁、納豆、漬物等至って質素。弁当は毎日持たされたが、十分ではなかった様に思えてならない。幸い国道沿いにうどん屋があり、適当に空腹を満たして居たし、休日には石神村(現東海村)へ乾燥芋の買出しに行った。

5、訓練

① 軍事教練

陸軍から将校が配属されて軍隊並の訓練が行われた。「気を付け」の号令で不動の姿勢に始まり、「休め」「敬礼」「右左向け」「遅れ右」「行進」等個人技から整列、分隊行進、射撃、銃剣術、戦闘訓練まで厳しく仕込まれた。

② 団体走行

毎週月曜日の朝礼後全員の団体走行が行われた。本部前を出発し、グランド横から国道へ出、鮎川橋から油繩子十文字を左折、常磐線の踏切を越え、河原子街道を鮎川浜へ。(日立電鉄未開通)更に左折、踏切を再び渡って山道を通って本部前へ。(正門も無かった。)順次解散して授業に取り掛かった。

③ 各科対抗駅伝

1年生の各科対抗駅伝大会が開かれた。是は選手だけではなく、組全員参加が条件である。中継点は多賀小学校前、大甕神社前、河原子十文字で4区間約15kmか? 結果は原動が優勝した。

④ 平潟港行歩行訓練

平潟港迄約30km、校長先生を先頭に先生、生徒全員が参加した。平素先生の運動姿を拝見しなかったもので、途中休まれたとは云え、全行程を完歩されたのには、大きな驚きと感動を覚えたものである。

6、寮歌に就いて

何時の頃からか、多分大学に変わる頃ではと思うが寮歌の三番、四番が取り違えられて歌われるようになった。詩の流れからしておかしいし、作詞された小坂谷先輩に対しても礼を失するのではありますまいか? 改訂して欲しいのですが、役員諸兄のご一考をお願い申し上げます。

著者プロフィール

昭和19年9月 浜名海兵団入団
昭和20年5月 海軍技術少尉任官
横須賀海軍工廠造機部勤務
昭和20年9月 復員 茨城県 農業
昭和28年5月 藤田鉄工所再建 油圧機械
昭和62年3月 廃業
昭和62年4月 日本工業大学就職
平成8年3月 定年退職

シルバーライフは 酔狂に生きよう

雨澤 道雄（昭29学機）

◇定年を絶好の機会ととらえて



定年退職したのだから、昨日まではサラリーマンであったが、今日からは趣味三昧だなどといわれるが、多くの人は身にしみこんだサラリーマン気分を払拭できず四苦八苦するようだ。定年となり第一線を退くということ

は、多くの制約から解放され、思いのままに、やりたいことに、やりたいだけ取り組むことができ、さらに時間はタツリ使えるので、時間がもたらす贅沢を存分に楽しむことができる絶好の機会である。

◇自由に生きて元気に楽しく

これまで、自分なりの力をだしきって相応の家庭生活を成し遂げ、子供も一応仕上がり、いい人生を過ごし得たのだから、これからはこれまでの自分をひきずらず、自由に生き、趣味は勿論、物好きといわれようが、興味の向くまま、損得を考えず、おもしろそうだなァ・・・、やってみたいなァ・・・と思ったらどんどんチャレンジするがよい。やらなくては・・・、しなくては・・・のように追われるのではなく、元気に楽しく挑むがよい。

このことは、ただボンヤリと過ごす日々が続き、気持ちが落ち込むような虚脱状態に陥らないための何よりの療法でもある。

◇退職後は地域の同好会等への参加

私は退職直後より、地域の各種同好会などに顔を出していたが、最近は植物同好会と長寿会に加入している。植物同好会はハイキングをしながら路傍に点在する植物を講師の説明を聞きながら観察する高齢者の集いである。いつしか幹事となり、観察会（毎月1回）が楽しい集いとなるようにと、植物が固有の特性を最もよく見せる時期と場所を勘案し実施してきた。

長寿会は会員が希望する諸活動に、生き生きと

取り組み、少しでも健康に寄与できる楽しい会をめざして、幹事役として知恵を出し合いながら活動している。

盆栽も近隣の愛好家達と付き合ううちに、やり始め、手をかける程に魅力を増し、楽しみや、安らぎを感じる。

◇戸惑いながらも楽しい出会い

これらは、いずれも初対面の方々との出会いであり、戸惑うこともあったが、気軽に仲間入りするうちに自ずとコミュニティーができたことに驚嘆した。戸惑いながらも「やってみて」自ずと興味を感じるようになり、見たり聞いたりでは自覚できない満足感・充実感を味わい得、楽しかった。また、心身のリフレッシュにも効ありと悟った。

最近パソコンを利用して、興味ある古事に関して、たまたま入手した資料をつなぎ合わせて、自分なりの雑記帳を案出するなどボケ防止に役立つと自負し精を出し始めた。

◇シルバーライフを謳歌

このように体験してみることは、好奇心を膨らませ、「やってみよう」との気概を高める場であると同時に、志を同じくする者達が集う場でもあり、新しいコミュニティーづくりに役立つ。延いては健やかで楽しいシルバーライフの起因ではないだろうか。自分の意志で自分らしい生き方を自由に設計し、年齢とともに動作は鈍くなり、物事を忘れるというようなマイナスイメージはとらず、年をとることで次々と新たな思いを描いて酔狂に生きよう。壮快に生きて、ささやかな張り合いや楽しみを享受するは、シルバーライフの醍醐味といえる。

周囲に迷惑をかけないように配慮することは勿論、いろんなことに興味をいだき、我儘に、損得を考えず、楽しみながら、やりたいことに、どんどん挑み「今日も楽しかった。いい一日だった。」とその日その日を生きたと実感できる日々を送る・・・こんな酔狂な生き方を満喫しましょう。そして、ずばらにならず、素敵なシルバーライフを謳歌しましょう。

著者プロフィール

昭和29年4月 石川島播磨重工業（株）入社
昭和61年12月 同社退社
昭和62年1月 （株）IHIロジスティック・テクノロジー入社
平成7年6月 同社退社

こんな日が来るなんて……

坪 弘 (昭37学機)

◆ 妻の医者から突然の電話

2007年4月中旬、任地先アメリカミシガン州デトロイトのアパートで、女房かかりつけの医者から電話を受けた。

女房は1月ごろから風邪薬で胃を壊し、あまりものが食べられないのですぐ疲れてしまうと言うような事を言っていた。が医者がそう診断したのであれば暖かくなればといった気持ちでいた時だった。

医者ははじめから「申し訳ない、見落としていた、どうも肝臓が潰られてしまっている。総合病院で精密検査を受けるよう手配した」と言うものであった。

◆ 急遽の帰国

アパートも口座もそのままに即帰国したが女房は検査日当日に入院となり僅か3ヶ月の入院で7月の誕生日を迎えてまもなく不帰の人となってしまった。

一昨年の春はヨセミテ国立公園を、秋はカナダトロント市の北300Kmメープルリーフの紅葉の美しいムスコカ地方で森の中をかなりの距離トレッキングした事など今までの思い出が全て急激な過去へと飛んでいってしまった。

あまり意識はしていなかったものの勝手なもので、自分はいずれ先に逝くとばかり考えていたようで、このようなめぐり合わせなど考えたこともなく、今まで何をしてきたのだろうと今にして考えさせられている。

◆ 卒業以来海外工事で池塘春草の夢

1962年卒業以来海外工事だけでも共産主義全盛のソ連邦タタール自治共和国でのカマトラック工場建設(1970年代)、ニュージーランド(NZ)での製鉄圧延プラントの建設とアメリカGM社向けプレスプラント建設(1980年代)、中国宝山製鉄向け圧延機械の中国メーカーとの合作、ソ連邦倒壊で浮上したチェコ共和国での製鉄所建設プロジェクトのフィジビリティスタディー、輸出向け圧延機械のインドでの製作調達(1990年代)そして再び90年代後半からアメリカGM社向けプレス工場近代化およびパネル送り機構のACサーボ化、破産したプレスメーカーVerson社のGM向け仕掛品プレスのテークオーバー完成納入(2000年代)などなどで、今に至るまでろくに年齢をも省みることなく卒業当時とあまり変わらぬ幼稚さ、気持ちでやってきてしまった感じだ。

ただただ何かこのような羽目になるまで取り留めのない池塘春草の夢のようなものを見ていたようだ。

◆ 心を癒せる日を迎えるために

癌とは言えこれまで夢を見させてくれた女房を救う事ができず、もう少し早く仕事を辞めていればとの悔恨にさいなまれる思いも強い。入院中は一日も欠かさず朝夕病院に詰めたが、そんな程度で心は癒されるものではなかった。

私がアメリカでやっていた仕事は主にGM社対応で、トヨタ、ホンダなどを主とする日本メーカーやダイムラー、ワーゲンなどのドイツ勢に年々追い上げられ、業績低迷でこれまでのようなビジネスチャンスの見通しは感じられず、もうそろそろ引退をとっては考えていた矢先でもあった。

引退後には北米を除く美術館や遺跡巡りをしよう、アメリカやカナダの主なところはほとんど昨年まで一緒に歩き回ってきたので、印象に残っている美しい雄大なNZ南島でのドライブをもう一度してみたいなどなど、皆2人でと思い描いていた事ばかりだ。

一時はもはやすべてを辞めようと考えたが、私を心配する多くの内外の友人や子供たちから引っ込んでしまえば私自身が駄目になってしまうのではと激励され、今も週3日ほど会社に出ている。また昨年の暮れには次男のところで初孫の娘が生まれた事も救いのひとつとなりそうだ。

そう簡単に癒えるとは思えないが、何とか一日でも早く以前のような意欲を取り戻し、ダン・ブラウンの“ダビンチコード”や“天使と悪魔”にまつわる旧跡や美術館などへ出かけたいような気持になれればと励んでいきたい。

☆ 老後を少しでも長く共に楽しまれよ

幸い、今まで健康には恵まれ医者に診てもらったこともほとんどありませんでしたが、今後は私も心してゆくつもりです。同窓の緒兄には手遅れにならぬよう家族ともども健康には十分留意され、いずれはどちらかがということは避けられませんが少しでも多くの時間、老後を共に楽しめるようにと願い少し陰気くさくなりましたが投稿させて頂いた次第です。

著者プロフィール

1962年4月 IHI 入社

1997年 IPTA (IHI Press Technology America) 出向

現在関連会社IMEC所属

趣味: ゴルフ、美術鑑賞、読書、写真

還暦野球に熱中！

大塚 進（昭38学化）

定年退職の時に、妻が探して呉れていた在郷球団「横須賀シニアクラブ」に入団して早くも八年を経過しました。チームは元プロ・ノンプロ・甲子園球児を含む高校球児、それに根っから野球の好きなメンバーで構成され、私が入団の直前、神選連（神奈川県還暦軟式野球連盟）主催の県大会で三期連続優勝している凄球団なので、入団させて貰えるか否か心配でした。でも入団テストをなんとか通り、ユニホームを手にする事が出来ました。そもそも入団の動機は、横須賀には知人が居ないので、チームメイトを通して交流を図り、地元に着するの狙いでした。

還暦野球は都道府県にそれぞれ連盟があり、その上に全国還暦軟式野球連盟を組織して、毎年全国大会が開催されています。県代表として、これに出場すること、及び全国制覇がチームの夢です。

入団当初は満60歳である自分が一番若いからと先頭に立って張りきり過ぎて、体調を壊しました。昔取った杵柄とは言っても気持だけが先行して加齢している事などつい忘れ、カラ元気を出すから身体のあちこちに痛みを訴えました。これを克服して運動できる身体になるのに大凡半年位掛かりました。

定期練習は、今は、週二日、朝八時半から十三時迄、炎天下も辞さず、チームメイトと共に汗を流しています。疲労感がとても爽やかで楽しいものです。

我チームは現在、「古稀の部」も含めて部員は53名。チームの会則では「生涯スポーツとして軟式野球を楽しむと共に、健全な発展を図り、会員相互の親睦と体力の保持を目的とする」となっていますが、実際は「楽しむ」を超えて「勝つ野球」を目指して、まるで球児の様に夢中でプレーしております。そんな訳でレギュラーポジション争いは熾烈を極めていきます。

チームのユーティリティーとして「バッティングピッチャー」や「ボール洗い」をこなしてやるようにしています。シートバッティングで投げる時など、レギュラー陣を相手に「俺の球打てるな

ら打って見よ！」と、心の中で呟きながら真剣勝負の積りで打者と対峙する事もあります。ささやかな意地の見せ所です。これは日頃のストレスを発散出来るとても良い機会になります。最近は県内の有力チームは左腕のエースが多くなって来ました。私は正規の投手ではありませんが、左腕なのでバッティングピッチャーを買って出て、チームの地力向上に役立てばと自称ユーティリティーになって楽しんでます。

チームの戦歴を振り返りますと、神選連の大会ではこれまで八回の優勝を数え、殆ど四強入りしております。私の入部の平成十二年から守山市・北上市・徳山市・足利市・弘前市・久留米市・岡崎市・太田市に出場するなど毎年全国レベルの大会に出場の機会に恵まれています。私が入団して以来、最高位成績は8強迄ですので、来年以降は更に上位、いや全国制覇を夢見て日々練習に励んでいます。此の年になってもまだ向上心を捨てずに気力と体力を持ち堪えて頑張る事は大きく意義があることと思っています。健康に恵まれ少年の様に白球を追ってグラウンドで汗塗れになれることこそ幸せと感謝しております。昨年の神選連で、春は優勝、秋はやはり同一カードの決勝戦でしたが、今度は準優勝でした。

私自身の事ですが、昨年からは、神選連事務局を担当する事になりましたので、春・秋の神奈川県大会では、大会を運営する立場となり、殆どチームと合流できず、戦線離脱状態でした。しかし昨年の最後を飾る大会『神奈川県生涯スポーツ還暦野球大会』で我が「横須賀シニアクラブ」が優勝できました。その大会ではフル出場しまして、一応の戦績を上げチームに貢献できたと自負すると共に年度の精算が出来たような気分です。

この還暦野球を通して良きチームメイトにも恵まれ、又彼等を介してお付き合いの輪が広がり、今や所期の目的を果たせたと思っています。これからも身体を労わりながら還暦野球を楽しみ、更に七十歳以上の「古稀の部」でもプレーを楽しんで行きたいと考えています。



著者プロフィール

昭和38年4月 出光興産に入社

以後セールスエンジニア、LNG輸入プロジェクト、日本海での石油・天然ガス生産プロジェクト等新規事業部門を担当

平成11年 満60歳で同社を定年退職

《趣味》野球の他にゴルフ・釣・ウォーキング・俳句・囲碁・開国に纏わる郷土史及びその古文書解説など

健康管理

青野 潔(昭41学化)

1、初めに

50歳を越す頃になって、天命を知るところか、体力の衰えを自覚する様になり、60歳近くなると、年老いた親の見送りや先輩、同級生、時には後



↓ 勤務先にて

輩の逝去の報に接するようになり、生者必滅とは言うものの、自らの残った人生を考えない訳には行かなくなってきました。生きていく限り元気でいたいものとは誰しも願う所でしょうし、元気でこそその人生(余生)とも思いますが、こればかりは思い通りとは行かないもの様です。

東京支部会報の編集子から寄稿のお話があり、お引き受けしたものの、何を書くかと思案投げ首の体でありましたが、最近ちょっとお医者さんに脅された事件がありましたので、それをネタに「健康管理」と題して書いてみることに致しました。

2、PSAについて

還暦を迎えた頃、友人から「60歳になったらPSAのチェックは毎年やったほうが良いよ。」と言われ、PSAの何たるかをも知識が無かったので、その時、教えて貰って前立腺癌のマーカーだと知った(PSA: Prostate Specific Antigen 前立腺特異抗原)。その方は、すでに前立腺癌の治療中で、この癌は、痛くも又、何らの徴候もないらしく、静かに侵襲するのだそうです。体調不良となつてから見つけた時には、体の各所へ転移していて手遅れというケースが多いとの事でした。

初期に発見すれば、対処は比較的簡単ということで、余り深く考えずに、会社の定期健診時に、オプションでやってくれるという事もあり、それからは、毎年、定検に加えて貰いましたが、数値は3台で、「問題なし安全圏」が続いていたのです。が2年程前に、4.5台に上がり、半年毎のチェックになり昨年暮れには、5.96というところまで上がってきました。

お医者さんの所見は、「癌の可能性20%。」と言うもので、「PSA値からはそこまでしか判らない。更に、正確を期すには、生検をする事になります。」とのご託宣。提案を受けて、2ヶ月後に2泊3日の入院の予約をして帰宅。「ちょっとサンプルを採るだけなのに、2泊は長いな。」と思いましたが、

下半身麻酔を掛けてサンプル採取をするので、必要だという事でした。

入院1日目は、手術前の説明等、2日目の午後手術室へストレッチャーで移動。すぐ麻酔に掛り10分位で本番に、30分程で16個のサンプルをとりました。下半身麻酔なので意識ははっきりしていて、見える範囲は注視しつつ、物音には聞き耳を立てていました。麻酔というのはすごい技術だな。と思っている間に手術を終えて病室へ運ばれました。それから、ちょっと大変でした。麻酔が覚めるのに6時間ぐらいかかり、その後も、起き上がったり、歩いたり禁止でした。検査の結果は1週間後に説明します。といわれて、3日目の昼前に退院しました。

結果は、80%の方に入っていたのですが、今後半年毎のPSA検査を続けることで、継続的にウォッチして行く事になりました。

退院の数日後厚労省が、40歳以上には、年1回のPSA検査を義務付けると、発表したようで、新聞に出ていました。前立腺癌の罹患率は、年々増加している様です。定期健診の項目に入る前に、自前でオプション検査するのは、お勧めだと思います。

3、おわりに

若く元気なときから健康管理していれば、メタボや各種の成人病にも縁無しなのでしょう。自分は大丈夫という軽い気持ちと若気の自信で不摂生をして、若さと元気を食いつぶした結果、老境に至っての不健康というのが、大方の傾向だと思います。

自身を省みましても、その典型の様で、今更、時間を巻き戻す事は出来ませんし、たとえ、出来たとしても、摂生した生き方を出来るとも思われません。加齢により元気が衰えてきたのを幸いに、これ以上悪くなるのを引き伸ばす様に、せいぜい摂生して行くのが、現在での最良の方法と思っている次第です。

読むに耐えない内容で紙面を埋めて申し訳ありませんが、読んで下さった方には、お礼申し上げますと共に、表題で内容を期待された方には、時間の浪費をさせてしまいお詫びいたします。

著者プロフィール

- 1966. 4 航空自衛隊幹部候補生学校入校
 - 67. 4 3等空尉任官
 - 技術職域・調達職域で勤務
 - 99. 5 1等空佐で定年退官
 - 三菱自動車工業㈱入社(特販部門)
 - 2003. 1 三菱ふそうトラック・バス㈱分社
 - 現在に至る
- 趣味等：ゴルフ(プレー)、少年野球(コーチ)、お酒少々

陳式心意混元太極拳 との出会い

常盤 浩央 (昭44学子)

☆伝統太極拳を始めた動機

私は現在63歳です。早いもので、退職してから今年の7月で4年になります。

3年半前に妻が府中の榊原記念病院で大動脈乖離のため10cmの人工血管に交換する手術を受け、一命をとりとめ、私は死を身近に感じました。



太極拳を始めたのは精神的ストレスや躁鬱的傾向から脱出し、精神的にも身体的にもリラックスし、強くなりたいためでした。最初は制定拳の簡化24式や総合42式から始めましたが、平成18年2月に「日本人のための太極拳入門」を読み、著者の前野慈作先生と連絡をとり、制定拳を習うつもりで行ったところ、いきなり、伝統太極拳の陳式心意混元太極拳を見せられ、いままでに見たこともない動きの本格的武術に驚愕したものです。

これが今北京で活躍されている馮志強老師の太極拳でした。

☆陳式心意混元太極拳を習う

私は日中小金井遊気会に入会しました。映画「ラスト・エンペラー」のなかで旧満州国皇帝であった愛新覚羅溥儀が撫順戦犯管理所の中庭で太極拳をやっている場面が出てきますが、これとはまったく異なる動きだったからです。それが楊式より柔らかいといわれている陳式心意混元太極拳でした。最初のうちは肩に力が入り、ゆっくり動くのが困難でしたが、ゆっくり重くやるのが良いらしいとわかりました。なるほど自分は体も硬いが、心も硬いのだと納得した次第です。この太極拳は10年単位で、学ぶものなので、知ったかぶりにはできないのですが、2年ほど神保町の教室も含め通ったところ少しずつ身体の緊張もとけ、リラックスでき、精神衛生上も良いようです。心を柔軟にするには身体も柔軟にする必要があることが

わかり始めてきました。60歳過ぎてからの練習では武術としての太極拳は無理としましたが、正しい姿勢だけでも保って行きたいと思い、継続しています。

☆上達には時間がかかるけれども

6式を覚えるのに6ヶ月かかり、24式を覚えるのに2年かかりました。(とりあえず途中でストップせずに一人でやれるという段階で、色々直すところがまだまだあります)。最初の合宿では自分ひとりではやれないことが、先生にばれてしまい、自宅で毎日練習しないとものにならず、奥が深いことを痛感しました。

☆北京での交流大会にも参加

北京の北の温泉地で行われた国際混元太極拳交流大会での馮志強老師の講話では太極混元基本内功(氣功)「(套路練習に入る前の基本功)を毎日やること。単独の動作を繰り返し修練すること」ということばが強く印象に残りました。太極拳では放松(ファンソン)(リラックスに近い)を重視しており、「余分な力を抜く」という意味ですが、現代のストレスの多い日常生活のなかでは、無意識に身体が緊張しており、緩めることは難しく夢の中でも自縛自縛になっていることもあるくらいです。その予防としての意味でも、無理に力を出さず、生涯継続でき、メンタルケアにもなるという、なかなか奥が深く、速成はできないが可能性のある太極拳と出会えたことをとても嬉しく思っております。

著者プロフィール

平成14年9月 オムロン(株) 退社
平成16年7月 田中無線電機(株) 退社
趣味 : 落語、能鑑賞。
太極拳を通じての異文化交流

☆編集者からのコメント

フリー百科事典『ウィキペディア(Wikipedia)』によると、太極拳(たいきょくけん)は中国の長い歴史の中から生まれた中国武術の一つで、緩やかで流れるようにゆったりとした動きが特徴であり、武術が持つ一般的な激しいイメージとは対照的に、コントロールされたゆっくりとした動きを多く含み、日本国内でも、太極拳の愛好者は年々増えています。読者の皆様も健康維持のため常盤さんに見習って始めてはどうでしょうか?(石川)

名機中判一眼レフ 「マミヤ 645」 を設計開発

日本写真作家協会(JPA)常任理事
全日本写真連盟埼玉本部監査役
埼玉県美術家協会会員

齋田 和夫氏(昭28学機)

〔編集部から〕

茨城大学工学部に写真部を創設し初代部長になって活躍し、卒業後はマミヤ光機(株)にて今でも名機と評価の高いカメラを設計開発し、退社後は写真撮影に没頭。特にネパールには十数回も撮影に出掛け、2004年11月にはカトマンズで写真展を開催し、ネパール国内でも賞賛されました。また日本国内では3回の写真展を開催し、写真集「自然に生きる」を発行し、写真界の重鎮として活躍中です。後輩の鈴木日出男(昭30学原)編集委員がインタビューとしてお伺いしました。

* 写真界で活躍されておりますが、写真を始めた切っ掛けなどからお願いします。

水戸中学卒業の昭和23年冬、水戸借樂團にて大津明定(昭28学機)君が親戚から借りてきたセミライラで、彼と卒業の記念写真を撮影したのが始まりです。

この頃ドイツ製のセミイコンク(カールツアイス・イーコン社製)等有名な時代でしたが、日本製のセミライラは二人が驚く程良く写っていました。今も大切にその写真を保管して居ります。

水戸中では大津君は級長さんで、小生は三年生の頃から勉強を習い、多賀工専に入学出来ました。多賀工専に入ると同じ水戸中からの同級生の戸島日出雄(昭28学原)君、故吉田栄一(昭28学原)君と大津君と齋田の四人が仲良しコンビとなり、その頃茨城県の写真界で有名な存在であった戸島君の父親の故戸島寛さんを師として、後の茨大写真部を創設する事が出来ました。そのメンバーは同期ではこの他に橋本、小野、坂場の各氏、後輩では室伏、海子、櫻村の各氏等が水戸市益神町の戸島君の家に集まり、教えを受けました。

今思うと私達は素晴らしい師を持ったと思います。特に小生は戸島君の父上無くして今迄の写真人生は無かったと感謝して居ります。今度茨大同窓会連合会会長になられた室伏君も茨城新聞社に入ってから、写真の腕を発揮した後社長になられた事と思います。

私は多賀工専、茨城大学時代(昭和25年12月)に大津、坂場の両君と一緒に蔵王にスキーに行った折、山形駅近くのバス停で撮った写真「初雪の

子供達」が当時のアサヒカメラ(昭和26年5月号)で二部(引き伸ばし部門)の二等に入り、翌月の6月号に有名な写真評論家伊奈信男氏の講評を、同じ6月号で三木淳氏がプロデビューした作品の講評を一緒に受けました。これは後程プリントを頂いた資料で知り、驚きました。この講評は今私が理事を務めるJPA(日本写真作家協会)の創始者である故三木淳氏であることを知り驚いております。このアサヒカメラの写真がきっかけで、茨大写真部に対しての思いが強くなり、当時の茨城県展に応募した作品が昭和26年には文部大臣賞、27年には知事賞、水戸観梅の写真で推選を頂く等、出品すれば良い賞を頂戴出来るようになりました。



入選作品「初雪の子供達」

* マミヤ光機(株)に入社後、名機と云われるカメラを設計開発した時の苦労話などを・・・

茨大を卒業して28年4月には昭和光学(後にレオタックスカメラと社名変更)に入社しました。実は日立精機の入社試験にも合格しましたが、どうしてもカメラを捨て切れず、従業員150名程の会社を選びました。このレオタックスカメラは昭和34年に倒産したので、三十数名の僚友と共にマミヤ光機に入社しました。マミヤ光機では設計部門に入り、レオタックス時代に取得した布幕フォーカルプレーンシャッターの一軸不回転ダイヤルの特許を生かしたフォーカルプレーン一眼レフカメラ(マミヤCWP、NP、WP・・・等)の設計を行いました。マミヤの一眼レフカメラは世界水準迄上がり、1968年にはアメリカでの一眼レフ販売数でニコン、アサヒを破り、トップとなった期間が3ヶ月有った程で、ご褒美に2年間隔でドイツのケルンで行われたカメラショウフォトキナに行かせて頂き、25日間欧州廻りをさせて貰いました。このカメラは1000DTLと銘打ったカメ

ラでこの頃では初のA、S分割測光方式を備え、平均測光と中央重点測光の二方式を持ち、撮影被写体の光度分布により自分でどちらかを選んで写せる方式でした。

後にこれがAS自動切換方式となり、現在で云われる評価測光の始めでした。もうパテントは切れたと思いますが、私のパテントでした。

これは後程マミヤで売れたマミヤ645、マミヤRZのプリズムファインダーにもAS自動切換として全世界で好評をばくしました。私も48歳で設計部長となり、その後15年間部長を務めました。がこの間大好きな自分だけの写真は仕事が忙しくて撮れませんでした。職務の関係で、2年に一度のフォトキナ、米国で毎年行われるカメラショウPMA等には何回も行き、写真は撮りましたが記録写真ばかりで学生時代に撮ったような若さ溢れる個性的な写真は撮れませんでした。

時は流れ、何時の間にか取締役開発本部長となり、年齢も63歳になっていました。

この頃になると若かりし頃写真界に入った時ずっと好きな写真を撮ろうと思った筈が果たせず、これからは又撮りたいと云う気持ちが溢れてきていました。たまたま五月の鯉のぼりを家内と二人で富士山麓の朝霧高原に撮影に行きましたが、午前中は雨の為鯉のぼりが上がっていませんでしたので、牧場主の家まで頼みに行き上げて貰い、懸命に撮影しました。その写真を初めての米国オレゴン州国際写真サロン展に応募して入選、戻った作品を今度は日本の国際写真サロンに応募したら、これも入選しました。これがきっかけで又々写真撮影の虫が暴れ出し、64歳の暮れで会社を辞めました。

* ネパールの撮影にはまり込むようになった切っ掛けは・・・

1993年ネパールカトマンズのトリブバン大学の客員教授をされておられた故樋田昭先生より、ネパールでの同窓会の話があり、近江君（東京支部長）達のお世話で二人会のメンバーの家族を含む17人が参加しました。電気故皆川先生も加わりました。これがきっかけでネパール撮影旅行が14回を数え、ネパールからチベット撮影2週間旅行も鈴木日出男君達とトライしました。

また2003年には「自然に生きる」1、半世紀前の記録より2、ネパールの人々と題した写真集を発行することが出来ました。

大宮で行った写真集発行記念パーティには先輩三羽鳥の故渡邊益男（昭19専精、前東京支部長）、岡部萌生（昭19専精）、柳田裕美（昭19専精）の諸先輩を始め沢山の同窓生からお祝いを受け、小生一生忘れ得ぬ思い出となりました。

* これまでの写真展実績など・・・

1996年 第1回写真展は新宿プロラポクリエイト東京で「ネパールの人々」

2004年3月 第2回写真展は銀座ファイブ2F 富士フォトサロン スペース2 で「自然に生きる ネパールの人々」

2004年11月 第3回写真展はネパールカトマンズのアートギャラリーでネパール大使館の応援を受けて行い、成功裏に終わりました。

2007年9月 第4回写真展は六本木に移った富士フィルムフォトサロン東京に於いて「半世紀の記録より」《人間讃歌》と題して学生時代に撮影したモノクロ写真から2006年、2007年に連続入選した国際写真サロン作品も出展し、肩の荷を降ろした思いです。



ネパール・ブーンヒルにて撮影活動中の齋田氏

* 今後の抱負などをお聞かせ下さい。

現在私は日本写真作家協会の理事の末席を汚しており、全日写連埼玉県本部では監査役、大宮支部長、そして古い歴史を持つカメラクラブ四季彩の講師をしています。永年フィルムカメラで撮影してきましたが、12年程前からデジタルカメラに凝り出し、林喜一先生（全日写連関東本部委員長）のご指導を仰ぎ、最初はドラム型スキャナー7000dpiで1枚のスキャナー代1万円を支払って人の出来ない写真を作り楽しみました。その後ニコンスキャナーが43万円程度で良いものを出したので、フィルムよりのデジタル化はこれに任せられています。しかし最近デジタルカメラが日に日に良くなり、新しいものを買っても直ぐ次のものが出来るのでキャノンEOS5Dを2年少々使っています。

使用パソコンはマックG4(0S9.2)とソフトはアドビフォトショップ7.0で作画をしています。一生写真人生を続けようと努力している毎日です。

(次ページ下段 ★印へつづく。)

第二の故郷、茨城

秋山 英樹(平4学情)

●新天地への旅立ち

24年前、家の周りは一田んぼの新潟塩沢から茨城に出て来ました。当時は関東と言う都会への憧れが大きかったのですが、その憧れも常磐線の車窓に広がる田んぼの風景を見ているうちに、徐々に薄れていきました。この時すでに、これから始まる茨の道を暗示していたのかもしれませんが。



●波乱の学生生活

1年目は水哉寮でした。昼夜問わず酒と麻雀、アルバイト、そして少し寝る毎日。そして強烈な個性の先輩方や全国から集まった同級生との付き合い。2年目にギリギリ日立に行けたのですが、やはり水戸で過ごす時間が楽しく、殆ど日立に帰らず遊んでいました。気がつけば同級生や後輩は皆卒業して行き、自分を含め周りは留年生ばかり。それならば在籍可能な8年生までサラリーマンの生涯年収3億円を獲得しようと考え、飲食店を経営しながら他でアルバイトもして将来の事業拡大を模索していました。しかし残念ながら時間切れ。起業の難しさ、経営の難しさを痛感した時でした。そして全てを手放し、8年生最後の1年間を日立で真面目な生活を送り、なんとか卒業する事ができました。当時こんな不良学生を受入れてくれた研究室の良き先生、仲間には心から感謝しております。皮肉なことに、8年間の学生生活でこの最後の1年間が一番学生らしい生き方だったと思います。

●心機一転の社会人

もう一つ、世の中の厳しさを知ったのが就職活動の時でした。学校の推薦状の御蔭で面接までして頂けるのですが、大手企業はどこも8年生など相手にしてくれず、かなり苦い思いをしました。

このまま人生の落伍者となってしまうのかと半ば諦めていた矢先、教授より御紹介頂いた会社を最後の頼み綱で受けました。面接は1時間くらい。「なぜ留年したか」、「何を勉強してきたか」など一切質問されず、終始世間話をしていただけです。面接が終わり、教授に報告の電話を入れたところ、既にその会社から内定の連絡が入っているとの事。決断の速さに非常に驚きでしたが、それ以上に捨犬の様な自分を拾ってくれた事に心から感謝しました。

専攻はソフトですが、前記の通り全然勉強していなかったので、どうせなら一から出直すつもりで、入社後はハードを選択しました。ハンダ？オシロスコープ？何も知らない新人を受入れた部署の皆は愕然としたでしょうね。私も皆に迷惑をかけたくないので3年で追いつく目標で一生懸命勉強しました。ようやく一人前らしくなってきた頃、ふと気がつく社内のソフト部門が非常に可哀想な立場であることが見えてきました。元々ソフト専攻で少しは知識があった為、ハードもソフトを勉強すべきと考える様になり、昔の教科書を引張り出しながら再びソフトの勉強を始めました。こんな事になるのなら学生の時にもっと真面目に勉強しておけば良かったと思いましたが、後の祭り。

●そして今

入社して17年目、今はソフト開発部門に所属しております。人生色々速回りでしたが結局原点に戻りました。縁あって、打合せの為に週1回、上野から常磐線に乗って車窓に広がる田んぼの風景を眺めています。まるで故郷に帰るような気持ちで、茨城は私の第二の故郷だと感じます。

もし人々が、生まれ故郷で働き続け、生涯を閉じる事が出来るなら、どんな世界なのだろうと最近考えます。田んぼの風景が見える地方であっても、仲間同士でお互いに支えあい、働き、そして雇用が促進される世界。私の会社もそうですが、日本企業の開発や製造、サービスが中国やインドへ年々シフトしています。そんなに単純ではない経済構造とは理解していますが、本当の意味での終身雇用ができれば、幸せに故郷で安心して暮らせるのにと感じます。まだまだ一杯勉強する必要がありますね。頑張ります。

著者プロフィール

1992年 理想科学工業(株)入社
現在に至る
趣味：麻雀、カラオケ(80年代洋楽)

★(前ページ下段からつづく。)

インタビュー後記

斎田さんのご自宅にお伺いしたところ、至る所に写真が飾られており、長年の経歴がうかがえました。プロ、アマを問わず、世界各国から参加す

る「国際サロン写真展」の入選は立派です。

そのメダルは眩しく輝いていました。今後のご活躍を祈念して斎田さん宅を後にしました。

(鈴木 日出男)

錯覚人生

小澤 茂 (昭43 学子)

1、「至誠一貫」で走り続けたが

無骨な生粋の「水戸ッポ」なので、「至誠一貫」全力で走り続けた私も、すでに還暦を過ぎた。

学生時代は女も知らず真面目に勉学に励み、就職したら「期待される社員像」に沿い自分のあるべき姿を考え、上司の意図を汲んで仕事に没頭し家族を悉く犠牲にしてきた。

然るに、学業成績は人並みで、派手に実績を挙げて社業に貢献しても評価されずに定年退職した。そんな田舎者の私は、少しの贅沢生活を錯覚し、無謀にもベンチャー企業を設立したが、良き先輩と仲間にも恵まれた環境を幸せに思う此の頃である。昔は頑固と思った先輩の御指導を支えにし、昔は喧嘩ばかりしていた妻に感謝する毎日である。

2、錯覚のスポーツ

営業はゴルフの好きな仲間が多い。他人のチョロやスライスを見ると密かに優越感を感じる。ゴルファーは全員、ゴルフ教本を読み、TV 観戦も多いので、ダボを叩くのが信じられない。特に私は、ゴルフ経験も永いので、桃子や遼君以上に見事なスイングをしていると思っている。

「運動神経が良い自分の飛距離が落ちたのは、還暦を過ぎて体が老化したからだ。コンペで結果が出ないのは、仕事で苦勞が多いからだ。ゴルフ場の設計も悪い！」と責任転嫁している。

自分は基本に沿った正しいスイングをしているので、結果が出ないのはゴルフ場が悪いのだ。

確かに、アドレスしただけで上手な人は判る。スイングを見ればスライスかフックか？打つ前に球筋が判る。

然るに、「いちよう会コンペ」で優勝する為にプロのレッスンを受けたら、腰痛の原因まで指摘され、フォームの歪みを修正された。自分ではスポーツ理論通りに打っている心算だった。だからこそ、昔から「ゴルフは錯覚のスポーツ」と云われる所以である。

『今更練習場で若い者(プロ)のレッスンを受けるのは恥かしい』と考えず、基本をもう一度練習して、正しいスイングを身につけようと思う。遊びも「一生稽古」を痛感する此の頃である。

2、職場での錯覚

新任課長の時代に「自己認知」という研修があった。事前に部下にも調査資料が渡され、課長の

方針を部下が理解しているか否かチェックする教育である。即ち、私のリーダーシップの問題点を発見する研修であった。私は会社の事業方針に沿って日夜努力し、部下を丁寧に指導しているつもりで自己満足していたが、意外にも部下は私を全く理解していない事実を知り唖然とした。

判り易い言葉で説明しているのに、年齢が一回り以上若いと、私の言葉を部下は全く理解していない現実を知った。自分は勝手に意思疎通が出来ていると錯覚していたのだ。

この経験以降は、私は重要な方針を伝える場合、発言趣旨を5~6歳若い部下(主務)に説明させ、部下の意見も聞く体制にした。若い主務を活用して組織力を発揮する契機となった。

4、自分の錯覚

私は自分の顔を知らない。鏡や写真を見て「自分の顔」を知っているつもりでいたが、本当の自分の顔を自分で見た事は一度も無い。そこで、韓国でマッサージ(健全な!)に行くと、若き美女から必ず『美男子ですね!』と顔を赤らめて褒められる。水戸ッポの風貌はスマートではないが、韓国女性には「美男子」としてモテる(?)から不思議である。国が違えば、顔の評価も異なると知り、こんな錯覚は嬉しい。

一方、私の声はフランク永井ばりの魅力ある低音と思っていたが、頭蓋骨で共鳴した音を聞いていただけで、録音されたカン高い茨城弁のメッセージを聞く度に驚く。

東京に来て40年も経てば、垢抜けした標準語を流暢に喋っていると思っていたが、露骨な茨城訛に呆れる此の頃である。

5、妻との錯覚

妻には「文句を言わず、俺について来い!」というのが「男の格好良さ!」と信じていた。

また、女・子供の意見は聞かず、頑固に自分の信念を貫くのが男の人生と思い込み、還暦になるまで一生懸命に頑張ってきた。無骨な男の誇りを持っていたのだ。

そこで、この原稿を書く前に、妻に『俺の人生は、錯覚ばかりだったかな?』と聞いたら、即座に『今頃 気が付いたの?』と笑われた。妻や子供を大切に思って苦勞して来たのに、妻は私を正當に評価していない。私の勝手な思い込みは、妻には迷惑だったらしい。

会社では、得意先から問題点を聞いて社内を調整し、CS活動を推進するのは常識である。然るに、家庭では妻の意見を聞かずに、私の思い込みだけを妻に押し付けていたのだ。

愚かにも、私は還暦を過ぎてから、夫婦の会話の重要性を知った。

これで我が錯覚人生を終了する!



仙台支部の紹介

支部長 渡部 晃 (昭39学電)

多賀工業会
東京支部の皆様、

仙台支部の紹介をさせていただきます。なお、東京支部さんには、永年にわたり仙台支部の年次総会にご出席いただいております。本席をお借りいたしまして、改めて厚くお礼申し上げます。



仙台支部は昭和61年6月に発足いたしまして現在は22年目に入っており、名簿会員280余名、年会費納入会員約100名、総会出席者約40名という現状にあります。目下、会費納入100名突破、総会参加者40名突破を目標として、支部活動の活性化を図っているところでございます。

支部長職は、初代が戸部省三(昭17専精・故人)、2代目綿引敏治(昭24専通・故人)、3代目大原善助(昭22専通)の先輩方、そして4代目が若輩の私となっております。

さて、仙台支部の活動の特記事項は2つあります。

1つは、「支部会報」の発行です。当初は「支部だより」という新聞に毛の生えた様なものから、冊子スタイルに進化させまして、現在のB5版におちつきました。22年の間には年2回発行(春と秋)にも挑戦いたしましたので、現在は第31号を数えるに至っております。そして会報の目玉はなんと云ってもその表紙にあります。初代支部長戸部さんの版画、内田会員の絵画等々が会報の品格を高めております。しかしながら、このところ原稿集めに汲々とした実態にあります。苦勞しております。東京支部さんの本コーナーを真似るのも1つの手かなと思つた次第です。

2つめは「総会の開催場所」です。実は以前は年会費の徴収はしておらず、総会のアガリの中から活動資金を捻出しておりました。しかし支部活

動の活性化のため年会費を徴収することとなり、「総会の開催地」も、より楽しく、よりあつまれる場所にといいことで、ホテル、一泊の温泉地、居酒屋などなどあれこれと行ってまいりました。当支部では当初より総会開始時刻は夕方、懇親会は夜にという仙台バージョンを設定して続けてまいっております。他支部とはひと味違ったニュアンスかなとも思いますが、懇親会終了後の二次会、三次会が狙いであったのかも知れません。しかしながら、この総会への参加者数がこのところずーっと30名台で40の数を突破できないでおります。なんとか盛り上げようと苦心しているところなのですが、なかなか名案が浮かびません。総会も単なる先輩・後輩の親睦を図るだけでなく、仕事や生活の上でも何かを得られるような異業種交流会的なものに変えていこう、懇親会の場をそんな形にもっていけばよいのかなと思つている次第です。

同好会活動はようやく始まったばかりです。「ゴルフ」「囲碁」「山里歩き」「麻雀」の4グループで行っておりますが、参加者がゴルフを除いてはなかなか集まらず、リーダーが苦勞しております。

夏にはビアパーティを開催しております。参加者が少なかったり、幹事役のスペシャリストが転勤でいなくなったりと、いろいろとありますが、「継続は力なり」をモットーに毎年続けてまいりたいと思っております。

節目の行事としては、10周年記念としては初代戸部支部長の版面をすりこんだ「テレフォンカード」の発行、そして20周年記念としては「母校訪問ツアー」を実施いたしました。

あれこれとお話いたしました。これからの支部活動は、如何にして若年層を集めるかが大きなキーポイントであると思っております。

今後とも宜しくお願いいたします。

著者プロフィール

昭39年4月 東北電力(株)入社
平11年 上記退社、北芝電機(株)入社
平17年 上記北芝電機(株)退社

趣味

読書(時代小説)、映画鑑賞

私たち大協印刷は、

印刷に関わるあらゆるサービスをご提案しております。

ぜひ一度ご相談ください。

迷惑メール対策とPCの裏技

HP編集委員 矢野 睦男（昭32学原）

東京支部ホームページ（HP）も2004年10月に開設以来、総会の案内報告を始めとし、各同好会の行事案内・報告など、支部活動のPRに努めております。昨2007年度は25件のページを新たに追加し、約1,000件のアクセスがありました。素人が制作するページなので、デザイン的には若干幼稚かもしれませんが、「読みやすい」ページを念頭に制作しております。

最近の「迷惑メール」の横行には手を焼いている方も多いのではと思っています。一度でもHPに自分のE-Mailアドレスを公開された経験のある方は特に「迷惑メール」悩まされていることと思います。対策としてE-MailアドレスをHPに公開しないと言うのは基本中の基本です。東京支部HPでも過去にはE-Mailアドレスを掲載していた時もありましたが、現在では例え原稿に記載があってもHP制作の際に削除しております。代わりに行事参加の申し込み連絡などにはWEBメ

ールを設定しHPから直接発信できるようにしております。その外、プロバイダーに迷惑メールフィルターの設定を依頼する（有料の場合もある）。ウイルス対策ソフトの迷惑メールフィルターを利用する。確実なのは手間が大変ですがE-Mailアドレス変更する。などなどです。

PCが新しくなるに従って、PCの立ち上がりが遅くなり、イライラしている方も多いのでは。その対策として裏技を一つ。通常PCを止める際は、〔スタート〕→〔終了オプション〕→〔電源を切る〕と進みますが、〔スタート〕→〔終了オプション〕→〔電源を切る画面でShiftキーを押し〔スタンバイ〕を〔休止状態〕に変化させて〕〔休止状態〕をクリックします。この操作をすると作業中のソフトなども含め一旦HDDに格納しPCは休止状態になります。休止処理が終わりましたら、電源を落とすことも可能です。再起動の際は電源ボタンを押して立ち上げますが、通常終了処理をしたものと比較し数分の1の時間で立ち上がりませぬ。一日の最後の終了処理以外はこの方法で終了すれば幾らかイライラが解消されるのではないのでしょうか。お役に立てば幸いです。

会報編集室から

吼洋寮寮歌の歌詞について

本誌6頁の藤田勲氏の「思い出の記」6、寮歌に就いての項で「何時の頃からか、多分大学に変わる頃ではと思うが寮歌の三番、四番が取り違えられて歌われるようになった。」と書かれています。歌詞は下記のとおりです。（多賀工業会本部HP掲載分より）

吼洋寮寮歌

（フリガナ省略）

- 1、黒潮吼ゆる東海の
真弓の峯の緑して
青春此處に集い来て
- 2、匆忙涼離極みなき
青苔むせる巖座に
経綸雲と胸に湧き
- 3、錦繡深き鮎川の
逍遙暫し若人の
誰にか問はん熱涙の
- 4、思いは遠し高鈴の
榮枯の夢の消え残る
老松破石寂として
- 5、嗚呼蒼渺の大洋に
鯨鯢躍る白浪に

小坂谷武宏 作詞
鎌尾 武男 作曲

- 青濤白砂を囀む所
溪流清き阿武ヶ丘
高き理想の夢結ぶ
浮塵を遠く外にしつ
立ちて天下を願望せば
松嶺高く波に和す
流れに浮かぶ月冴えて
影銀漣に映る時
瞳に溢るゝ感激を
影夕陽に映ゆる項
古城の跡に佇めば
俯仰に應うる聲もなし
久遠の光我敷かん
飛龍の覇圖を畫きつゝ

昂然空に嘯けば 星亦未久の光輝あり
6、悠久青史窮なく 嘯奕茲に陽を受けて
科学の精華燦爛と 今望洋の丘に咲く
嗚呼いざ共に謳歌せん 希望に溢るゝ我が前途
＜考察＞

- 1、問題部分の三番では、鮎川の流れに月が浮かび冴え渡ります。月明かりで逍遙する若人の影が川面に映ります。これは陽が落ちて大分時が経っているように思われます。
そして四番では、高鈴山の影が夕陽に映える頃（HPに表示されている「項」は誤植ではないか）のことが歌われています。
夕陽があつてその後に月影と進むのが自然な流れと指摘されているわけです。
- 2、上記の他に「集い」、「思い」は全体に文語体ですから「集ひ」、「思ひ」ではないかとも思われます。
- 3、寮歌が出来た当時に配布された歌詞や解説書等の資料をお持ちの方がおられましたら、確認のため見せて頂けないでしょうか。

ご連絡をお待ち申し上げます。鶴首。（兼子）
＜辞書＞ 匆忙：忙しくて落ち着かないこと。漂離：漂いはなれる。経綸：治国済民の方策。蒼渺：蒼く果てしなく広い。鯨鯢：クジラの雄と雌。覇圖：覇者たるはかりごと。嘯奕：物事の盛んなこと（さま）。

平成19年度会費納入者

(敬称略、順不同)

(平成20年5月31日までに納入された方)

* 会費ご納入有難うございました。納入された方で記載漏れや間違いがありましたらご寛恕の上、ご連絡下さい。未納の方はご入金をお願いいたします。

Tel & FAX 045-891-2232(本名簿作成者:兼子)

氏名の前の□は平成18年度以前分も同時納入の方で中の数字は繰上年数を示します。

氏名の後の○は平成20年度以降分を同時納入もしくは既納入の方で中の数字は前納となる年数を示します。

昭16専機 大矢 純一	昭22専通 菊地 契吉	昭24教電 浦井 猛	昭31学機 横山 亨夫
昭16専原 小川 義夫	昭22専通 幸道 貞一	昭25専原 忍田 邦夫	昭31学機 新田 和夫
昭16専原 林 義雄	昭22専通 谷口 貞作	昭25専精 京野 五一	昭31学原 瀬在 城雄
昭17専機 大野 三知雄	昭22専通 中村 弘	昭25専電 高橋 清	昭31学原 山崎 慎一郎
昭17専機 岡崎 幸晴	昭22専通 林 猛雄	昭25専通 川野辺 勉	昭31学電 大内 孝
昭17専機 田邊 邦行②	昭22専通 前田 豊昭	昭25教機 酒井 三郎	昭31学電 藤川 俊明
昭17専原 楠木 正	昭22専通 今井 俊夫	昭26専原 永山 正美③	昭31学金 ②細井 陽子②
昭17専原 故・久米 武男①	昭22専通 保坂 博	昭26専原 渡邊 貢	昭32学機 伊藤 義次
昭17専原 故・志賀 武弘	昭23専機 梅田 政夫	昭26専精 関内 正	昭32学機 國井 榮次
昭17専金 田邊 良美①	昭23専機 難波 靖治	昭26専通 菊地 玲二④	昭32学機 柴田 勇治
昭17専金 依田 連平	昭23専機 向芝 新市	昭26専舶 井坂 孝	昭32学機 溝口 知昭
昭18専機 菅原 庄一	昭23専原 飯島 公正	昭28学機 関 英雄	昭32学原 矢野 睦男
昭18専機 宮崎 至誠	昭23専原 名島 龍雄	昭28学機 高田 丈夫	昭32学原 榊原 康夫
昭18専機 山本 栄治	昭23専金 菊地 秀利	昭28学機 小白井 和典	昭32学電 田口 嘉男
昭18専精 立枝 茂男	昭23専金 村山 昭平	昭28学原 柳沢 裕	昭32学電 田崎 橋八
昭18専金 市島 健男④	昭23専電 故・小林 猛	昭28学電 稲見 孝	昭32学電 ①山下 正明
昭18専金 山田 実	昭23専電 塩野 譲	昭28学電 近江 義勝	昭32学電 横山 衛
昭18専電 関根 宗一	昭23専通 荒川 宣夫	昭28学電 白瀬 達郎	昭32学電 渡辺 英雄
昭19専機 大和田 光徳	昭23専通 木内 昭男	昭28学電 玉川 信二①	昭32学電 小室 秋生
昭19専原 初本 二郎	昭23専通 馬場 昭	昭28学電 橋本 久美	昭33学機 奥 康治
昭19専原 藤田 勲①	昭23専通 広瀬 琢朗①	昭28学電 藤田 史郎	昭33学原 ①山崎 勝雄
昭19専精 小泉 篤	昭23専通 松沢 清次①	昭28学電 山崎 恵三	昭33学電 鳥居 由幸
昭19専精 ①白石 精	昭23専舶 森 栄一郎	昭28学電 中原 太平	昭33短電 伊藤 誠二
昭19専精 柳田 裕美	昭23教電 斉田 排平	昭28学金 赤城 清	昭33短電 佐藤 馨
昭19専金 大鷹 浩介	昭23教電 千野 吉治①	昭29学機 雨澤 道雄	昭34学原 粕谷 宏夫
昭19専電 関口 利男	昭24専機 小林 長和	昭29学原 石橋 弘③	昭34学電 千葉 克男
昭19専通 酒井 忠光	昭24専機 故・白土 四男	昭29学原 大久保 半吾	昭34学電 森田 敏夫
昭20専機 岡本 公夫	昭24専機 戸田 慶昭	昭29学原 奥野 真治	昭34学電 高野 史雄②
昭20専原 海老原 謙次郎	昭24専機 若林 麟介	昭29学電 ①小嶋 國雄	昭35学機 佐藤 襄
昭20専原 友保 伊弘	昭24専原 真中 和夫	昭29学電 森 章太郎	昭35学機 高野 久弘
昭20専精 山田 初太郎	昭24専精 鳥山 尚利	昭29学金 照沼 清	昭35学機 山口 宣之
昭20専精 田島 廣一	昭24専電 白石 壽男	昭30学機 佐藤 久弥	昭36学機 柏木 尚①
昭20専電 竹内 靖夫	昭24専電 前川 信雄	昭30学機 田口 忠夫	昭36学機 上月 秀俊
昭20専電 都築 久一②	昭24専通 城田 一成	昭30学原 石川 英二	昭36学機 境 茂郎
昭22専機 小亀 秀郎	昭24専通 戸木 禮一	昭30学原 鈴木 日出男	昭36学機 笹生 右
昭22専機 乗 智成	昭24専舶 小峰 弘	昭30学金 黒沢 正蔵	昭36学機 林 輝
昭22専金 明石 和夫	昭24専舶 杉山 六郎	昭30学金 三本木 武	昭36学機 真下 知行④
昭22専電 野坂 賢司	昭24教機 福地 三郎	昭31学機 早乙女 保二①	昭36学機 森永 隆宏

昭36学機 横山 馨	昭38学電 大久 忠雄	昭38学精 矢嶋 國男	昭43学機 ②速藤 義和②
昭36学機 綿引 憲夫	昭38学電 兼子 八郎	昭39学機 三好 成實	昭43学機 羽賀 一男
昭36学電 小宅 仁①	昭38学電 後藤 紀夫	昭39学機 小林 章夫③	昭43学電 後藤 豊弘
昭36学電 川松 正長	昭38学電 小林 渡	昭39学機 佐川 六郎	昭43学子 小澤 茂
昭36学電 佐伯 明良	昭38学電 佐々木登喜夫④	昭39学電 原 俊彦	昭43学化 池上 毅
昭36学電 橋本 正直	昭38学電 田川 政行⑤	昭39学電 大原 広哉	昭44学子 石川 久
昭36学金 鈴江 芳雄	昭38学電 ①新沼 厚生	昭39学金 入江 楊泰②	昭44学子 ①佐島 晃
昭36学金 高信 和明	昭38学電 橋本 政巳	昭39学金 横山 安行	昭44学子 常盤 浩央
昭37学機 坪 弘	昭38学電 熊谷 文男②	昭39学化 大谷 義隆	昭44学精 岩波 茂
昭37学機 岩田 正路	昭38学電 高萩 隆司	昭39短機 塚田 俊彦	昭44学精 菊地 政行
昭37学機 ②野本 光彦	昭38学電 小島 淳	昭40学機 熊倉 通	昭44学精 鈴木 秀一
昭37学機 宮沢 信夫	昭38学電 坂野 栄	昭40学電 飯野 嘉郎	昭44学精 山口 良治
昭37学電 上田 正雄	昭38学電 橋 弘	昭40学電 曾我 道春	昭45学電 永木 利夫
昭37学電 佐藤 栄一	昭38学電 寺内 賢一	昭40学電 手塚 勇夫	昭46学機 村上 達則
昭37学電 田北 嵩晴	昭38学電 広瀬 行一③	昭40学電 広瀬 勇二	昭46学電 飯塚 英一
昭37学電 西川 正登	昭38学金 海老原 雄二	昭40学電 山崎 輝行	昭46学子 栗原 功幸
昭37学金 篠原 康祐	昭38学金 大久保 孝敏	昭40学金 松本 二郎	昭46院機 岡本 和彦⑤
昭37学金 舟田 隆	昭38学金 梶山 国男	昭40学化 ②芝崎 勝彦	昭47学子 五十嵐 喜良①
昭37学化 阿部 徳治	昭38学化 大塚 進	昭40学化 高久 洋①	昭49学機 柳下 幸夫
昭37短機 白川 勇一	昭38学化 小田倉 勝夫	昭40学化 田中 栄太郎	昭49学金 松田 研治
昭38学機 河上 弘一	昭38学化 小池 利彦	昭40学化 森 俊和	昭52学子 福田 光男
昭38学機 小林 一	昭38学化 佐島 淳之助	昭40学精 大泉 雅晴	昭53学電 水島 好彦
昭38学機 駒場 方彌	昭38学化 白石 道彦	昭40学精 寺 紋一③	昭54学精 鳥居塚 卓
昭38学機 桜井 衛	昭38学化 高木 二郎	昭41学化 青野 深	昭55学機 寺本 康博
昭38学機 佐藤 幸一	昭38学化 松浦 正明	昭42学機 ①小森 廣樹	昭57学機 小林 裕一
昭38学機 丹下 宏	昭38学化 矢部 功一②	昭42学機 菅谷 禎男②	昭57学機 水口 一郎①
昭38学機 豊田 元雄	昭38学精 磯部 亮	昭42学電 ②森田 徹郎②	昭58学電 深作 浩
昭38学機 寺門 章	昭38学精 市村 敬司②	昭42学電 山田 恵規	昭60学精 豊福 秀敏
昭38学機 長谷川 幸夫	昭38学精 上野 武彦	昭42学金 小園井 健②	平04学情 秋山 英樹
昭38学機 半田 守正	昭38学精 黒羽 昇	昭42学化 井藤 紘	平07学電 鈴木 真
昭38学電 今橋 富美男	昭38学精 関 晋	昭42学精 下ノ村 勇②	平08院生 東 學
昭38学電 大竹 充①	昭38学精 宮田 武	昭42学精 山本 蕃①	

合計 279名

平成18年度分会費納入者

昭19専精 小泉 正男 昭28学原 戸島 日出雄

平成19年度分と同時納入の方は、平成19年度会費納入者欄の氏名左側に数字入りの口印をつけて表示しています。
(平成19年6月1日～平成20年5月31日まで)

平成19年度寄付者名簿

昭20専電 都築 久一 1,000

ご寄付有難うございました。
(平成19年6月1日～平成20年5月31日まで)

昭38学機 豊田 元雄 10,000

年会費納入のお願い : 添付の払込取扱票でお早めにご入金下さい。
寄付の場合もこの用紙をお使い下さい。

在野自連 囲碁同好会

幹事 新沼 厚生 (昭38学電)

市ヶ谷にある日本棋院(3Fの椅子席室)に於いて、午前10時から夕方まで掛けて、それぞれが5回対局する方式で熱戦が繰り広げられます。

現在、部員の登録者は専通22の大先輩から、学子44の若手までの方々38名で、棋力は7段から4級まで色々です。

試合は、持点数によるハンディ戦としており、1局終わる毎に持点数を増減しています。どんな

に弱い人でも、勝つチャンスがあるような運営システムでやっています。

当会では、棋力や勝敗にこだわらず、「楽しく、さわやかに」をモットーに続けていきたいと思っております。

大会は、年に4回で、2月、5月、11月の第2土曜日と8月の第1土曜日です。

囲碁に興味のある方は、是非とも、ご参加下さい。きっと思いがけない出会いが待っていることでしょう。

一日の対戦が終了してから、希望者により、会場近くで簡単な懇親会を行なっています。



開催年別参加者の推移 ↑参加者全員集合<34回大会>対局風景 ↑

開催年(平成)	12	13	14	15	16	17	18	19
大会No.	1~4	5~8	9~12	13~16	17~20	21~24	25~28	29~32
参加者数	24	41	56	66	70	71	77	70

参加者数は年々伸びてきていますが、昨年度は伸び悩み、少し下降致しました!

大会入賞者(前年度支部会報第10号記載以降)

大会	開催日	優勝	準優勝	3位	4位	5位	6位	奨励賞
31	07-08-04	関三	佐藤一	真下七	小白井二	広瀬二	幸道初	山下七
32	07-11-10	新沼四	豊田三	山下七	広瀬二	兼子二	山田三	小白井二
33	08-02-9	山田三	根本四	桜井二	石川初	幸道初	真下七	海老原2
34	08-05-10	山田三	広瀬二	桜井二	高橋三	豊田三	田口五	照沼四

(注) 和数字は段位・算用数字は級位を示します。

連絡窓口 幹事 新沼 厚生 TEL 045-903-6766

旧制水戸高等学校と対抗戦

水戸戦幹事 高田 丈夫 (昭28学機)

昨年に引き続き、今年も桜の時期の3月15日、溜池山王の湖川ビルに於いて、第2回の親善対抗戦が行われました。水戸側は総数16名、多賀工業会側は千葉県支部と埼玉支部の応援を得て総数12名の参加で盛会でした。今回から全局ハンディ戦とし、親善戦の色合いの濃いものとなりました。

昨年は多賀工業会の圧勝に終わったこともあり、今回は多賀側の段位を1ランク上げて1人全4局の対戦としましたが、多賀側の35勝10敗1

ジゴとなり、今回も圧勝の形となりました。多賀側から3名の4戦全勝者が出ました。再度ハンディの見直しが必要かと思われまますので、水戸側と良く打ち合わせをしたいと考えています。

会の後の懇親会で年2回やりたいとの声が多かったので、次回は8月16日に予定されています。

対戦成績(持点順)姓・段位(持点)勝数一負数
 佐藤・八(138)3-0 山下・八(135)2-2
 田口・六(129)4-0 新沼・五(122)3-1
 照沼・五(120)2-2 豊田・四(119)4-0
 兼子・四(119)4-0 高田・四(117)2-0 1ジゴ
 高橋・四(117)3-1 小白井・四(117)3-1
 上田・四(115)2-2 石川・二(107)3-1

ゴルフ同好会

幹事 兼子 八郎 (昭38学電)

年間行事として春秋2回のコンペと5~6月に5支部懇親コンペを催しています。

(1) 平成19年4月10日(火)

紫カントリークラブあやめ東コース

参加者: 11名 (会報10号で既報)

(2) 平成19年6月6日(水)

4支部懇親コンペ

フレンドシップカントリークラブ

支部代表: 4名 (敬称略) 近江(28電)、

佐藤(35機)、上月(36機)、兼子(38電)

☆ 幹事担当の埼玉支部(2チーム)と当支部の他に千葉県支部、水戸勝田支部代表が参加しました。

(3) 平成19年11月6日(火)

東京五日市カントリー倶楽部

参加者: 13名 (敬称略)

友保(20原)、佐藤(35機)、山口(35機)、

上月(36機)、林(36機)、上田(37電)、

駒場(38機)、大久(38電)、兼子(38電)、

橋本(38電)、北島(39機)、青野(41化)、

石川(44子)

優勝: 上田、準優勝: 友保、3位: 駒場

DC: 上田、橋本 DT: 友保、青野

NP: 友保、佐藤、上田、石川

☆ 上田さんは3連覇達成となり、青野さんはベストスコアでしたが、惜しくも入賞とはなりませんでした。

(4) 平成20年4月16日(水)

紫カントリークラブあやめ東コース

参加者: 18名 (敬称略)

友保(20原)、近江(28電)、石川(30原)、山口(35機)、上月(36機)、林(36機)、上田(37電)、小林(38機)、大久(38電)、兼子(38電)、磯部(38精)、大泉(40精)、森(40化)、青野(41化)、小澤(43子)、佐藤(43子)、角田(43子)、石川(44子)

優勝: 小林、準優勝: 森、3位: 佐藤

DC: 森、小澤 DT: 山口、上月

NP: 山口(2)、上田、小澤

☆ 上田さんは4連覇は阻まれましたが、優勝者と同じベストスコアを記録しました。

(5) 平成20年6月11日(水)

4支部懇親コンペ: 東京支部が幹事担当

紫カントリークラブあやめ東コース

参加者: 24名 (敬称略)

東京: 近江(28電)、山口(35機)、小林(38機)、

駒場(38機)、兼子(38電)、青野(41化)、

小澤(43子)、佐藤(43子)、石川(44子)

千葉県: 藤岡(33機)、加藤(33電)、

加瀬(38機)、綿引(38電)

埼玉: 野口(33機)、高橋(33電)、上田(37電)、

森(40化)、永井(24精)、坂本(33機)、

白石(38化)

水戸勝田: 大津(19金)、岡野(33電)、

神部(33電)、鶴田(36電)

団体優勝: 千葉県支部、準優勝: 埼玉支部A

個人優勝: 加藤、準優勝: 駒場

☆ 今回は初の試みですが、栃木県支部が参加出来なかった枠を埼玉支部3名、東京支部1名の混成チームで埋めました。次回からは万が一4名揃わなくてもエントリー可能なスタイルにしよう決めました。次回担当幹事は千葉県支部です。

連絡窓口 (入会歓迎です!)

兼子 八郎 TEL: 045-891-2232



H20年6月11日 紫カントリークラブにて4支部懇親ゴルフコンペに参加した支部代表の皆さん

写真同好会

小林 渡 (昭38学電)

東京支部写真同好会「多賀いちろう写真部」は平成15年に発足し、現在会員13名、基本的に春、秋に撮影会を実施しております。また埼玉支部「ワンダーフォトクラブ」のご好意で支部の行事に参加させて頂き技術の向上、親睦を深めております。平成19年度の活動状況は以下の通りです。

(以下敬称は省略します)

- * **春の撮影会** 平成19年5月10日、実業家原三溪によって作られた横浜三溪園で実施しました。参加者は6名、斎田和夫(28学機)、玉川信二(28学電)、寺門修(30学原、埼玉支部)、高橋伸二(41学機、埼玉支部)、小林渡(38学電)、三好成實(39学機)です。
 - * **霧が峰一泊撮影・研修会** 平成19年7月9日10日(埼玉支部ワンダーフォトクラブ主催)に、埼玉支部会員でもある斎田和夫、鈴木日出男(30学原)、小林渡の3名が参加しました。総勢13名となり、マイクロバスをチャーターし海野宿、霧が峰、八島湿原、諏訪大社で撮影しました。
 - * **秋の撮影会** 平成19年9月23日 東京世田谷馬事公苑で「愛馬の日」に実施しました。参加者6名、玉川信二、山崎慎一郎夫妻(31学原)、小林渡、三好成實、寺門修(埼玉支部)、高橋伸二(埼玉支部)です。当日は勇壮な相馬の「流鏑馬」北海道「ばんえい競馬」等が開催され、動物的な対象物の撮影の難しさを味わった
- 事と思います。
- * **会員活動状況**
斎田和夫、鈴木日出男は全日本写真連盟埼玉県本部、小林渡は全日本写真連盟神奈川県本部に属し活動しております。主な入選は以下の通りです。
 - ・ 斎田和夫 第57回埼玉県展入選(5月)、第24回埼玉県サロン展入選(9月)、第6回さいたま市展入選(10月)、第22回埼玉の自然フォトコンテスト入選(2月)
 - ・ 鈴木日出男 第57回埼玉県展入選(5月)、第24回埼玉県サロン展入選(9月)、第11回花物語展 優秀賞(3月)
 - ・ 小林渡 平成19年4月、5月、12月、1月度全写連神奈川県本部月例会入選、平成19年神奈川県サロン展入選(10月)
 - * 「水府美術展」旧制水戸高等学校と茨城大学の合同の開催で4月、10月に開催されました。
 - * 「こうがく祭」に協力 茨城大学工学部主催の「こうがく祭」(平成20年5月31日)に、多賀工業会本部から写真出展を依頼され、埼玉支部と連携をとり、12名の方々の協力得て合計30点の作品を出展しました。日本は勿論のこと、南極昭和基地、チベット・ラサ、中国、ギリシャ・エーゲ海など国際色豊かな傑作が出そろい、訪れた人々の好評を得ました。
 - * **入会案内** 特にデジタルカメラに興味のある方を歓迎します。催しの案内は東京支部ホームページに掲載します。

入会等のお問い合わせ先 小林 渡
TEL: 045-363-0785



写真：春の撮影会
H19-5-10
三溪園にて
大池三重塔を
背景に

前列左から
三好、玉川
後列左から
斎田、小林、
高橋、寺門

山遊会 会長 小宅 仁(昭36学電)

19年度は4回の山行となりました。上期は厳しい山が多かったこともあり、参加者も幾分少なめでしたが、近郊のポピュラーな山の企画では、参加者は多く盛会となりました。また高齢(昭19専原)の藤田さんや柄本さんに加え、矢野さんの80歳超の姉上様も加わり、後期高齢者などの称号を返上するような会の盛り上がりようでした。

1. 第17回 かたくりの咲く御前山登山

実施日 2007年4月14日(土)日帰り

企画及びリーダー：田崎 耕八(昭32学電)

参加者：7名

登りは直登する厳しい登りのサス沢山コースを辿り、コースタイム通りのピッチで惣岳山に辿り着きました。しかし、目指したカタクリの花は疎らで、1週間早すぎた感じでした。心配した天気にも拘わらず、見晴台では富士山も顔を出し、その絶景を背景に記念撮影をして喜びを分かち合いました。

御前山(標高1,405m)の頂上で一休みのあと、下山路は柳寄コースを選び、数々の山野草を愛でながらゆっくりと下山しました。

2. 第18回 入笠山フラワー登山&編笠山登山

実施日 2007年7月1日(日)&2日(月)

企画及びリーダー：

入笠山 田崎 耕八(昭32学電)

編笠山 小宅 仁(昭36学電)

参加者：7名

入笠山(標高1,955m)では、九輪草や残り僅かのスズラン、山ツツジ、あやめなどに目を細め、頂上では周囲の山々がそれなりに眺望出来ました。

二日目の編笠山(標高2,524m)は雨の中の登山となってしまいましたが、83歳の藤田さんを含め全員が完全踏破出来て何よりでした。

3. 第19回 高尾山一城山縦走紅葉狩り登山

実施日 2007年11月17日(土)

企画及びリーダー：小宅 仁(昭36学電)

参加者：16名

今回は東京に近いことと紅葉が楽しめるそうだとすることで特別参加のご婦人も含め、和気あいあいで登山となりました。高齢の2名の方には中腹まで登るケーブルカーを利用させていただき、残る14名は6号路(琵琶瀧コース)を琵琶瀧から1号路にバイパスするルートを取り、ケーブル山頂駅を目指しました。最初は緩やかな散歩道で軽やかに歩き、山頂駅近くで少し急な登坂がありましたが、登山高度約290mを順調に登りケーブルカー組と合流しました。

高尾山山頂(標高599m)に到着してみると、都心並みとは言わないまでも大混雑で、記念写真の撮影のみ行って、引き続きもみじ平まで歩き、ここで昼食をとりました。

休憩後縦走を開始し、100mほど降りた後、約

200mを登り小仏城山山頂(標高670m)に到着しました。小休止栄養補給を行い、記念写真の撮影後、一気に約500mを降り、千木良バス停に到着しましたが、次のバスまで待ち時間が長いので、相模湖駅まで歩くことしました。

弁天橋まで降り、再度の登坂となり、一旦気を緩めた体には予定外の歩行で幾分苦しかったのですが、相模湖駅まで約1時間頑張りました。ケーブルカーを利用された高齢の方も最後まで若いメンバーに負けることなく元気に歩かれ、健脚振りを示されました。薄曇りのため期待した富士山を眺めることは出来ませんでした。秋の高尾山を十分楽しめるハイキングでした。

[東京支部 HP 報告書(報告者：矢野)より抜粋]



4. 第20回 鍋割山(標高1,273m)登山

実施日 2008年3月5日(土)

企画：桜井 衛(昭38学機)

リーダー：田崎 耕八(昭32学電)

参加者：9名

丹沢山塊は主峰が煙ヶ岳(1,678m)で、高山とは云えませんが、アクセス路が長く、結構厳しく、体力を要求される山です。今回の鍋割山もご多分に漏れずアプローチの長い山で、参加者の諸条件を考慮し、少しばかり(200m)高度をお金で買う(タクシーで行ける二俣手前のゲートまで行く)事にし、登山累積高度を700m程度に圧縮しての登山となりました。

ここからの急登で皆少しばかり顎が上がり気味でしたが何とか後沢乗越まで辿り着き、ここからは参加者各人のテンポも一定に落ち着いてきて、順調に高度を伸ばしました。呼吸も荒くなってきて、足も気だるく、段差のある1歩を踏み出すのが苦しくなってきた頃に、桜井さんお勧めの鍋割山山荘名物の鍋焼きうどんがちらついてきました。心なしか、鍋焼きうどんの香りを感じたかな〜と思ったら、突然頂上の山荘が現れました。鍋焼きうどんに舌鼓を打ち、佐竹さん持参の古酒に僅かな酔いを感じるうち、昼食タイムも終わり腰を上げました。帰路は大倉尾根下山コースを辿って下山しました。

[東京支部 HP 報告書(報告者：小宅)より抜粋]

快舞会 幹事 瀬在 城雄(昭31学原)

年4回ダンスパーティを行い、会場は各会員が所属する会が主催するパーティの他、一般のダンスパーティ会場やダンスホールなどを利用しています。夫婦でしている会員は出来るだけ同伴参加するものとし、年1回ダンス旅行をすることにしています。

- 第4回 平成19年7月21日(土)
横須賀市久里浜公民館 参加者 3名
- 第5回 平成19年8月26日(日)
杉並区久我山会館 参加者 7名
- 第6回 平成19年9月16日(木)
新宿コズミックホール 参加者 6名
- 第7回 平成19年12月6日(木)
杉並区公会堂グランサロン 参加者 8名
- 第8回 平成20年2月29日(金)
有楽町ツインタワー東宝ダンス 参加者 8名
- 第9回 平成20年4月26日(土)
新宿御苑前シノダスポーツダンスクラブ
参加者 9名

<会員募集> 社交ダンスに興味があり、始めて見たいと思われる方をご紹介下さい。本人は勿論ご夫婦でのご参加を大歓迎いたします。

編集後記

*去る6月21日(土) 都内のパールホテル両国で多賀工業会H20年度理事会が開催されました。

①5月31日の「こうがく祭」に東京・埼玉両支部から写真パネル展示の支援があり、多賀工業会の紹介と支部活動状況を内外にPRでき、本会の認知度を更に高められたことに対し、寺門会長と小林幹事長から謝辞とお礼が述べられ、来年は早めに計画し各支部のご協力をお願いするようにしたいとのことでした。②次期会長の候補者として、会則に準じ4名の副会長の中から日立綜合支部副支部長の木曾正明氏(昭29学電)が選出されました。H21年7月の総会に諮られます。(三本木)

*中学校で新聞部の編集をしたのは47年前でした。当時、ガガーリン少佐が世界初の宇宙旅行を成し遂げたところで、そのときの中学校新聞の原稿にも感動を表してくれた友達がいました。原稿を読んで私も感動しました。A3一枚の新聞でしたがやりがいを感じました。今回はじめて編集委員として参加させて頂き、アイデアもなく、原稿をお願いしました。しかし、さすが先輩、快く引き受けて頂いたうえに、上手く自分を表現して頂きました。先輩諸兄に感謝感激です。正直言って、今まで会報の編集後記など見たことがあり

写真は第9回の参加者(敬称略)

後列左より明石(昭22専金)、成井(昭30学原)、柳沢(昭28学原)、瀬在(昭31学原)、佐藤(昭30学機)

前列左より大谷(瀬在従妹)、成井夫人、瀬在夫人、佐藤夫人



<連絡先>

柳沢 裕 Tel&Fax 03-3998-5767
瀬在 城雄 Tel&Fax 0422-46-5208

ませんでした。続けられるのかどうか疑心暗鬼ですが、頑張っていきたいと思っています。(石川)

*『黄砂が、カビや細菌を運ぶ「微生物の箱船」になっている可能性のあること』が新聞に掲載されていました。二酸化炭素の膨大な排出に伴う地球環境の悪化対策が、環境サミット等を通じてなされていますが、まさしく地球に住む人類全体が解決すべき問題だと思います。ところで、会報記載の随筆は多様な内容となっています。しばし環境問題を忘れ、会報をお楽しみください。(菅谷)

*支部総会での堤博士の「脳梗塞について」の講演の中で日常生活に於いて健康管理の大切さを教えて頂きました。①朝食をきちんと摂り間食を控える(1日3食)。②腹7、8分目でバランス食をとる(脂肪、塩分控え、植物繊維をとる)。③アルコール少量にする(日本酒換算1日2合以内)。④タバコをすわない(禁煙守る)。⑤1日7,000歩以上の歩行。⑥休養(睡眠)をとる(ストレス解消)。⑦定期的な健康診査を受ける。以上が健康生活に必要な事とあります。私の場合③を除いてどうやら合格点です。皆様如何でしょうか。(小林)

* 処暑間近あやめ一輪咲く水辺 やそむ
会報発行日の今日は「処暑」。古来、暑さが落ち着く時期と言われています。さて近來は？(兼子)

編集担当委員

鈴木 日出男 (昭30学原)	三本木 武 (昭30学金)
山崎 慎一郎 (昭31学原)	兼子 八郎 (昭38学電)
小林 渡 (昭38学電)	菅谷 慎男 (昭42学機)
石川 久 (昭44学子)	

多賀工業会東京支部会報【第11号】

発行 平成20年8月23日
発行者 支部長 近江 義勝
〒113-0032 東京都文京区弥生2-8-6
TEL&FAX 03-3811-7088

「東京支部会則」

(平成16年10月23日改正)

第1章 総則

第1条 本会は、多賀工業会東京支部と称し、その支部事務所を支部長宅に置く。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて母校の隆昌に寄与することを目的とする。

第2章 事業

第3条 本会は、第2条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 会報の発行
- (2) 会員名簿の整備・管理
- (3) 会員相互の連絡及び共助共励
- (4) 会員と母校との連絡
- (5) 発展向上のための講演会、研修会
- (6) 同好会活動
- (7) その他目標達成のため必要と認める事項

第3章 会員

第4条 本会の会員は、多賀工業会の会員で東京・神奈川及び近隣に在住・在勤している者、並びに支部長が特別に承認した者とする。

第4章 役員

第5条 本会は次の役員を置く。

支部長	1名
副支部長	若干名
幹事長	1名
幹事	若干名
会計幹事	1名
監事	2名
その他(同好会幹事、相談役、顧問など)	若干名

第6条 役員は、次の方法によって定める。

支部長は、幹事会の互選とし総会での承認を得るものとする。

支部長以外は、支部長が推薦し、現幹事会の決議を得るものとする。

第7条 役員の職務は、次の通りである。

支部長	本会を代表し、会の運営・会務執行の責めに任ずる。
副支部長	支部長を補佐し、支部長が職務不能な時はその責務を代行する。
幹事長	幹事の業務を統括する。
幹事	会の運営業務を夫々分担して遂行する。
会計幹事	本会の収支、及び会計を担当する。
監事	会計を監査し総会で報告する。
同好会幹事	同好会毎に部長、副部長等を定め、自主的に運営する。
相談役	支部長の相談に応ずる。
顧問	支部長・幹事会の諮問に応ずる。

第8条 役員の任期は2年とし、重任を妨げない。

第5章 会議

第9条 支部総会は、原則として毎年10月に開催す

る。但し、必要に応じ臨時支部総会を開くことができる。

第10条 支部総会は、次の事項について審議し、出席者の過半数の賛成で決議する。

- (1) 支部長人事
- (2) 会則の改廃
- (3) 本会の年度決算並びに次年度予算
- (4) 本会の年度事業報告並びに次年度計画
- (5) 幹事会からの提出議案
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事項

第11条 幹事会は、幹事をもって構成し原則として年4回(2、5、8、11月の第4土曜日)開催する。但し、必要に応じ支部長又は幹事長が臨時に召集し開催できる。

第12条 幹事会は、次の事項について審議し、出席者の3分の2以上の賛成で決議事項とする。

- (1) 支部長の互選及びその他役員の設定
- (2) 会則の改廃案
- (3) 本会の年度決算案並びに次年度予算案
- (4) 本会の年度事業報告案並びに次年度計画案
- (5) 総会への提出議案
- (6) 細則規定の改廃
- (7) その他会務運営上必要な事項

第6章 会計

第13条 本会の経費は、会員の年会費、寄付金及び本部補助金をもってあてる。

第14条 現金の保管は銀行預金の方法による。

第15条 本会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日までとする。

第16条 本会の収支は、会計幹事が担当し、監事が会計監査を行い総会に報告する。

付則 本会則は、平成16年10月23日より施行する。

細則規定

第1条 年会費は、2,000円とし、会計年度内に徴収する。複数年度分の先行納入は拒まない。但し、一旦納入の会費は返還しない。

第2条 会報は次の者に配布する。

- (1) 年会費納入者(但し、5年連続未納者には6回目に通知し以降配布を停止する)
- (2) 支部総会参加者
- (3) 東京・神奈川に在住・在勤の直近3年間の卒業生
- (4) 配布希望者で支部長が許可した者
- (5) その他多賀工業会本部及び支部等の関係者

第3条 総会開催の案内は、会報にて発表するとともに書面で通知する。書面による通知は、第2条の対象者以外にも広げて発送する。

第4条 慶弔規定は別途定める。

第5条 80歳到達の役員経験者に記念品を贈呈することが出来る。

第6条 本細則の改廃は、幹事会にて行う。

本細則は平成16年10月23日よりより施行する。平成20年5月24日に第5条を追加し、旧第5条は第6条に繰り下げとした。

ソフトロニクス株式会社

《産業用ブラシレスモータ/マイコン制御ドライバの専門メーカー》



お気軽にご連絡ください

- 用途 ◆各種自動機用モータ
◆電動アシスト用モータ
◆ディスク検査製造用モータ
◆速度制御及び位置制御用モータ・ドライバ
◆超精密用エアベアリングモータ

〒338-0821 さいたま市桜区山久保1-8-2
TEL 048-855-4321 FAX 048-855-5577
URL <http://www.softronics.co.jp>
E-mail uzuka@softronics.co.jp

代表取締役 宇塚 光男 (昭45電気工学科卒)



CYBER LINKS

取締役会長 村上 正義 (原勲S18)

代表取締役社長 村上 恒夫

株式会社 サイバーリンクス

WILL makes anything

本社 〒641-0012 和歌山市紀三井寺849-3 TEL 073-448-3600(代) FAX 073-448-3609

各部門 通信システム事業部 TEL 073-448-3610 FAX 073-448-3619
地域ネットワーク事業部 TEL 073-448-2517 FAX 073-448-3639
医療ネットワーク事業部 TEL 073-448-3677 FAX 073-448-3619
カスタマーサービス事業部 TEL 073-448-3640 FAX 073-448-3649
モバイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3680 FAX 073-448-3689
リテイルネットワーク事業部 TEL 073-448-3660 FAX 073-448-3669

各事業所 東日本支社 〒169-0051 東京都新宿区西早稲田3-30-16 HORIZON.1ビル5F TEL 03-5285-3711 FAX 03-5285-3700
西日本支店 〒530-0056 大阪市北区免野町5-12 NTT西日本免野ビル4F TEL 06-6316-8288 FAX 06-6316-0075
福岡営業所 〒810-0001 福岡市中央区天神2-5-35 NTT天神ビル南館1F TEL 092-724-0205 FAX 092-713-0606
田辺営業所 〒646-0032 田辺市下屋敷町31番地1 テレコムビル5F TEL 0739-26-1300 FAX 0739-81-3225
新宮営業所 〒647-0014 新宮市浮島1番28号 中本ビル2F TEL 0735-22-6887 FAX 0735-22-7180
MD@センター 〒174-0041 東京都板橋区舟渡1-5-22 城北センター3F TEL 03-6413-0350 FAX 03-3558-3055

新世代の超精密加工をシステム化する



The NEXSYS™ Corporation

新世代加工システム株式会社

Materials Micro-Fabrication Research



NEXSYS, Creators of New Generation Ultra-Precision Fabrication System.

- ◆ELID鏡面研削を中心とした各種試験加工受託及び加工データの提供、特種試験加工、試験研究を受託致します。
- ◆ELID研削システムの開発・製作及び販売
- ◆マイクロ加工・特種加工ツールの開発・製作及び販売
- ◆ナノプレジジョン加工システム化事業
- ◆セメントコンパレータ事業
- ◆特注部品の試作・製作及び検定
- ◆マイクロ加工研究会事務局

代表取締役社長 大森 宮次郎 (学歴35 工学博士 茨城大学名誉教授)

取締役 福原 茂夫 大森 整 吉川 研一

本店:
〒105-0054 東京都千代田区錦町3-17(廣瀬ビル4F)
TEL.03-5217-2281, FAX.03-5217-3032

連絡事務所:
東京都板橋区加賀1-7-13
TEL.03-5943-7968, FAX.03-5943-7977

埼玉事業所:
埼玉県北埼玉郡大里町鹿野台2-664-8
TEL/FAX.0480-78-2545

<http://www.nexsys.co.jp> E-mail: nexsys@nexsys.ne.jp